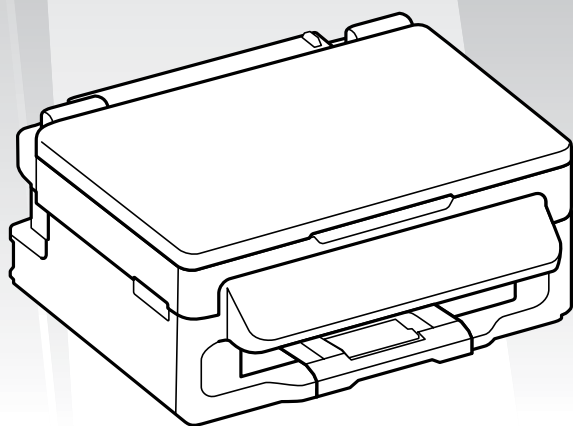
インクジェットプリンター（複合機）

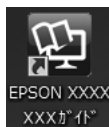
PX-505F

操作ガイド

本書は製品の近くに置いてご活用ください。
本製品の使い方全般を説明しています。

使用上のご注意
操作部の名称と働き
セット方法
各モードの使い方
メンテナンス
困ったときは
付録

2012年6月発行
Printed in XXXXXX

電子マニュアルの開き方

パソコンにインストールされた電子マニュアル（ユーザーズガイド、ネットワークガイド）は、デスクトップ上のアイコンをダブルクリックして表示させます。

アイコンがないときは、以下の手順で表示させてください。

- Windows
  ［スタート］－［すべてのプログラム］－［Epson Software］－［Epson Manual］－［EPSON PX-505F ユーザーズガイド（またはネットワークガイド）］
- Mac OS X
  ［起動ディスク］－［アプリケーション］－［Epson Software］－［Epson Manual］－［EPSON PX-505F ユーザーズガイド（またはネットワークガイド）］

掲載画面とイラスト

画面
Windows 7 での表示画面を掲載しています。

記号の意味

記号	意味
!重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足情報や参考情報を記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。
【　】	ボタン名を示します。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

もくじ

使用上のご注意 4

操作部の名称と働き 8

本体 8
操作パネル.. 9
画面の見方.. 10
メニュー一覧 11
設定項目の説明 12
- コピーモード ... 12
- ファクスモード ... 16
- スキャンモード ... 18

セット方法 19

印刷用紙.. 19
- 印刷できる用紙と設定 ... 19
- 印刷用紙のセット ... 22

原稿のセット 23

各モードの使い方.......................... 24

コピーモード 24
ファクスモード 25
- ファクスの準備 ... 25
- ファクス送信する ... 30
- ファクス受信の仕方 ... 32

スキャンモード 34

メンテナンス 35

インクカートリッジの交換 35
ノズルチェックとヘッドクリーニング 37

困ったときは 39

詰まった用紙の取り除き方................................39
メッセージが表示された 40
トラブルへの対処 41
- 印刷品質 ... 41
- 電源・操作パネル ... 43
- 給紙・排紙 ... 43
- ファクス ... 44
- その他のトラブル ... 45
- 本体のクリーニング ... 46

付録... 47

文字の入力 47
輸送方法 47
製品の仕様 48
- 製品の仕様とご注意 ... 48
- 規格・規制 ... 50
- ご注意 ... 51

サービス・サポートのご案内 53
- お問い合わせの前に ... 53
- 修理とアフターサービス ... 53
- お問い合わせ先 ... 55

索引...56

使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に本製品のマニュアルを必ずお読みください。本製品のマニュアルの内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品のマニュアルは、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてください。

本製品のマニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

記号	説明
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
	してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	分解禁止を示しています。
	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	特定の場所に触れることの禁止を示しています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

設置上のご注意

⚠警告	
	本製品を布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。 内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。

⚠注意	
	本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。 **本製品を移動する順は、左右の下部を両手で持ち、水平な状態で移動してください。** 傾けたり立てたりすると、スキャナーユニットが開いて、けがをするおそれがあります。
	不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管したりしないでください。 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。 **油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。** 感電・火災のおそれがあります。

静電気

静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

電源に関するご注意

⚠警告	
	電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。 **電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。 **電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。** 感電・火災のおそれがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。

	AC100V 以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 **電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 **電源コードのたこ足配線はしないでください。** 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。 **破損した電源コードを使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない **付属の電源コード以外は使用しないでください。** **また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。

⚠注意	
	長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意

⚠警告	
	液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。 万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。 • 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。 • 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。
	異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
	製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。 **雷が鳴り出したら、電源コンセントや電話回線に接続されている機器（製品本体、電源コード、電話線）に触れないでください。** 感電のおそれがあります。
	煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。 **アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 **可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。** **また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。** 引火による火災のおそれがあります。 **お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。** **各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。** 発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。 **開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。** 感電・火災のおそれがあります。

⚠注意	
	本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、全ての配線を外したことを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。 **各種ケーブルを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。** 火災やけがのおそれがあります。 マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。

	印刷用紙の端を手でこすらないでください。 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。 **詰まった用紙を取り除く際は、用紙を無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。** 急に用紙が引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。 **本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。** 特に、子どものいる家庭ではご注意ください。 倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。 **電源投入時および印刷中は、排紙ローラー部に指を近付けないでください。** 指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。 **本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。** インクが漏れるおそれがあります。 **スキャナーユニットの開閉の際は、スキャナーユニットと、本体との接合部（継ぎ目）に手を近付けないでください。** 指や手を挟んで、けがをするおそれがあります。

インクカートリッジに関するご注意

⚠注 意	
	インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 • 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。 • 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。
	インクカートリッジを分解しないでください。 分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
	インクカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
	インクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。

<取り扱い上の注意>

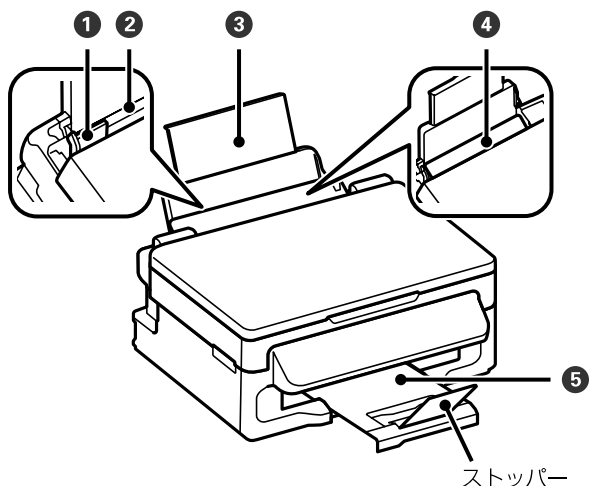
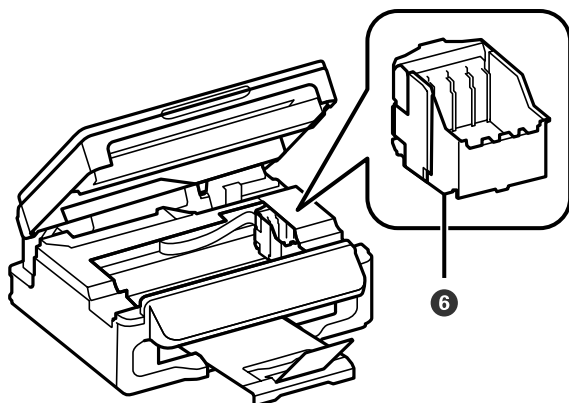
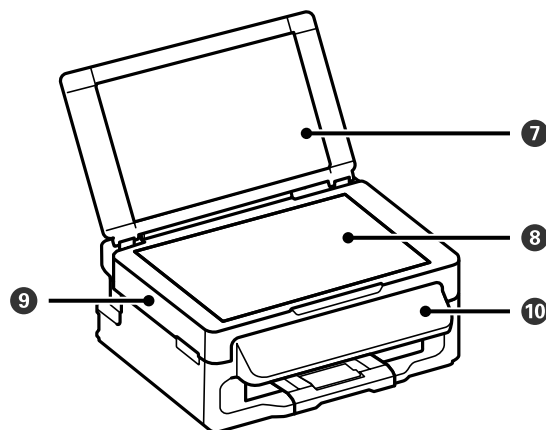
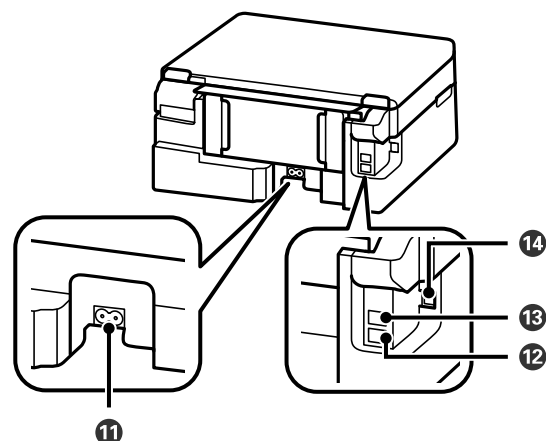
- インクカートリッジは冷暗所で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は 6ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。
- 黄色いフィルムは必ず剥がしてからセットしてください。剥がさないまま無理にセットすると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。なお、その他のフィルムやラベルは絶対に剥がさないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジの緑色の基板などには触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
  「インクカートリッジの交換」35 ページ
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- インク充填中は電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- 電源を切った状態でインクカートリッジを交換しないでください。また、プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インクカートリッジを取り外した状態で本製品を放置したり、インクカートリッジ交換中に電源を切ったりしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で、インク供給孔部を下にするか横にして保管してください。なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- カートリッジはICチップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- インクカートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。

- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

＜インクの消費＞

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクカートリッジ交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- モノクロやグレースケール印刷の場合でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

操作部の名称と働き

本体

❶	**用紙ガイド** 用紙の側面に合わせます。
❷	**シートフィーダー** 印刷用紙をセットします。
❸	**用紙サポート** セットした用紙を支えます。
❹	**給紙口カバー** 用紙をセットするときに開けます。内部に異物が入らないよう、普段は閉めておいてください。
❺	**排紙トレイ** 印刷された用紙を保持します。

❻	**プリントヘッド（ノズル）** インクを吐出します。

❼	**原稿カバー** スキャン時に外部の光を遮ります。
❽	**原稿台** 原稿をセットします。
❾	**スキャナーユニット** 原稿をスキャンする装置です。
❿	**操作パネル** ☞「操作パネル」9 ページ

⓫	**電源コネクター** 電源コードを接続します。
⓬	**EXT. ポート** 外付電話機を接続します。
⓭	**LINE ポート** 電話回線を接続します。
⓮	**USB ポート** パソコンに接続する USB ケーブルを接続します。

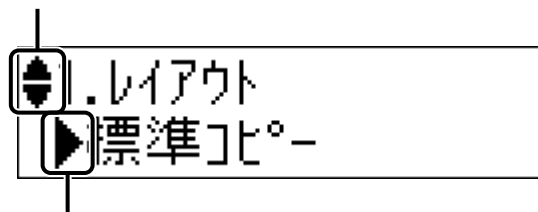
操作パネル

ボタンは【　　】で表します（この項以外では、【スタート】ボタンを【スタート】と記載）。

❶	**【電源】ボタン** 電源の入 / 切をします。
❷	**液晶ディスプレイ** メッセージなどを表示します。購入時の設定では 10 分以上操作しないとスリープモード（時間を表示）になります。操作パネルの【電源】以外のボタンを押すと表示が戻ります。 文字のスクロール速度を調整できます。また、スリープモードに移行するまでの時間を変更できます。 ☞「コピーモード」12 ページ
❸	**選択 / 設定ボタン** メニュー項目の設定や印刷枚数の設定をします。
❹	**テンキー（数字キー）** 数字や文字の入力、設定項目などの選択をします。
❺	**【短縮 / グループダイヤル】ボタン** ☞「短縮ダイヤル・グループダイヤル送信」30 ページ
❻	**【リダイヤル / ポーズ】ボタン** ☞「リダイヤル送信」30 ページ
❼	**【ストップ / リセット】ボタン** 操作中のモードの設定を購入時の状態（メーカー設定値）に戻します。
❽	**ネットワークランプ** 無線 LAN に接続すると点灯します。 スリープモード（表示が消える）になっているときは、操作パネルのいずれかのボタンを押すと表示が戻ります。
❾	**モードボタン** モードを選択します。 ☞「コピーモード」12 ページ ☞「ファクスモード」16 ページ ☞「スキャンモード」18 ページ
❿	**【メニュー】ボタン** 各モードのメニュー画面を表示します。
⓫	**【戻る】ボタン** 1 つ前の画面に戻します。
⓬	**無線 LAN 設定ボタン** 無線 LAN の設定モードに入ります。
⓭	**【スタート】ボタン** モノクロまたはカラーのどちらかを押すと、印刷を開始します。

画面の見方

各画面で操作できるボタンを、アイコンを使ったガイドで表示します。
ガイドの意味を覚えておくと、ガイドを見ながら操作を進めることができます。

操作パネルの【▲】か【▼】ボタンで操作することを示しています。

操作パネルの【▶】で操作することを示しています。

メニュー一覧

設定項目の詳細な説明と併せてご覧ください。設定の組み合わせによって表示されない項目があります。
☞「設定項目の説明」12 ページ

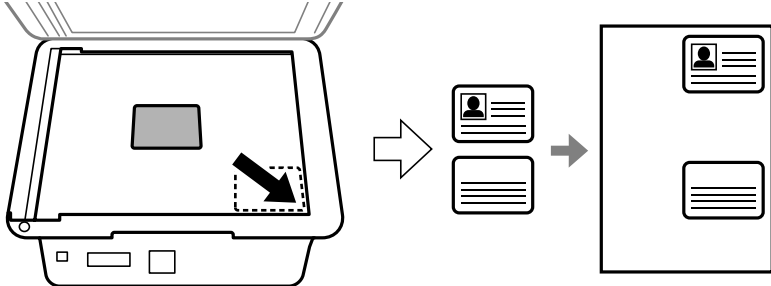
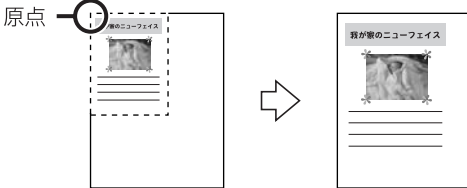
コピーモード
レイアウト 倍率 用紙サイズ 用紙種類 品質 コピー濃度 購入時の設定に戻す ネットワーク設定 プリンターのお手入れ

ファクスモード
画質 濃度 時刻指定送信 通信種別 ファクス設定 購入時の設定に戻す ネットワーク設定 プリンターのお手入れ

スキャンモード
スキャンしてパソコンへ スキャンしてパソコンへ（PDF） スキャンしてパソコンへ（E メール）

無線 LAN 設定へのショートカット	**無線 LAN 設定**
	カンタン自動設定 手動設定 プッシュボタン自動設定（AOSS/WPS） PIN コード自動設定（WPS） ネットワーク情報確認 ネットワークステータスシート印刷 無線 LAN 無効

設定項目の説明

設定の組み合わせによって表示されない項目があります。

コピーモード

操作パネルで、【コピー】－【メニュー】を押して、【▲】【▼】で項目・設定値を選択します。

ｺﾋﾟｰ　枚数　:⇕ 1
A4/普通紙/等倍

⇕1.ﾚｲｱｳﾄ
▶標準ｺﾋﾟｰ

項目名	説明	
レイアウト	レイアウトを選択します。	
	標準コピー	周囲に約 3mm の余白あり（フチあり）でコピーします。 余白あり
	フチなしコピー	余白なし（フチなし）でコピーします。 余白なし
	ID カードコピー	ID カードの表裏をスキャンして、A4 サイズの用紙にコピーします。
倍率	コピーの倍率を設定します。	
	等倍	100% の倍率でコピーします。
	オートフィット	原点からの余白を含めて原稿の文字や画像のある部分をスキャンし、そのデータを用紙サイズに合わせて拡大または縮小してコピーします。 原点
	任意倍率	数字入力（テンキー）画面で倍率を直接入力してください。
用紙サイズ	印刷する用紙のサイズを選択します。 ☞「印刷できる用紙と設定」19 ページ	

<table>
<tr><th>項目名</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>用紙種類</td><td colspan="2">印刷する用紙の種類を選択します。
☞「印刷できる用紙と設定」19 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">品質</td><td>エコノミー</td><td>速度優先でコピーするため、印刷が薄くなります。</td></tr>
<tr><td>標準品質</td><td>－</td></tr>
<tr><td>きれい</td><td>品質優先でコピーするため、印刷に時間がかかります。</td></tr>
<tr><td>コピー濃度</td><td colspan="2">コピーの濃度を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">購入時の設定に戻す</td><td>ファクス通信設定</td><td rowspan="4">それぞれの設定値を購入時の状態に戻します。</td></tr>
<tr><td>ファクス登録データのクリア</td></tr>
<tr><td>ネットワーク設定</td></tr>
<tr><td>ネットワークとファクス設定以外</td></tr>
<tr><td>全ての設定</td><td>全ての設定値を購入時の状態に戻します。</td></tr>
</table>

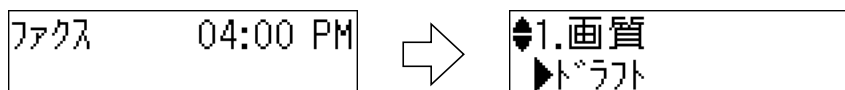
<table>
<tr><th>項目名</th><th colspan="4">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="22">ネットワーク設定</td><td colspan="4">ネットワーク関連の設定をします。
設定中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。正常に動作しなくなるおそれがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="20">無線 LAN 設定</td><td>カンタン自動設定</td><td colspan="2">パソコンの無線 LAN 設定を使って、プリンターとパソコンを直接通信してネットワーク設定を行います。</td></tr>
<tr><td>手動設定</td><td colspan="2">SSID（無線ネットワーク名）、暗号化などのセキュリティーキーをご自分でプリンターに入力してネットワークを設定します。事前にネットワーク情報が必要です。</td></tr>
<tr><td>プッシュボタン自動設定（AOSS/WPS）</td><td colspan="2">アクセスポイントの【AOSS】または【WPS】で無線 LAN の設定をします。</td></tr>
<tr><td>PIN コード自動設定（WPS）</td><td colspan="2">本製品に割り振られた 8 桁の数字をアクセスポイントまたはパソコンに登録して、無線 LAN の設定をします。</td></tr>
<tr><td rowspan="14">ネットワーク情報確認</td><td>プリンター名</td><td rowspan="14">設定や接続状態を確認できます。</td></tr>
<tr><td>接続状態</td></tr>
<tr><td>電波状態</td></tr>
<tr><td>TCP/IP 設定方法</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td></tr>
<tr><td>ゲートウェイ</td></tr>
<tr><td>無線 LAN 設定方法</td></tr>
<tr><td>通信モード</td></tr>
<tr><td>SSID</td></tr>
<tr><td>チャネル</td></tr>
<tr><td>セキュリティー</td></tr>
<tr><td>セキュリティーキー</td></tr>
<tr><td>MAC アドレス</td></tr>
<tr><td>ネットワークステータスシート印刷</td><td colspan="2">詳細な情報が確認できます。</td></tr>
<tr><td>無線 LAN 無効</td><td colspan="2">［無線 LAN を無効にする］を選択すると、無線 LAN を使用しないときに本製品から無線電波を出さないようにします。</td></tr>
<tr><td>ネットワーク診断</td><td colspan="3">接続状態を診断します。診断結果を印刷すると、詳細な情報を確認できます。診断結果の見方は以下をご覧ください。
☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）-「設定 / 印刷で困ったときは」-「ネットワーク接続診断のエラー」</td></tr>
</table>

項目名	説明		
ネットワーク設定（つづき）	ネットワーク情報確認	プリンター名	設定や接続状態を確認できます。
		接続状態	
		電波状態	
		TCP/IP 設定方法	
		IP アドレス	
		サブネットマスク	
		ゲートウェイ	
		無線 LAN 設定方法	
		通信モード	
		SSID	
		チャネル	
		セキュリティー	
		セキュリティーキー	
		MAC アドレス	
	ネットワークステータスシート印刷	詳細な情報を確認できます。	
プリンターのお手入れ	インク残量の表示	インク残量（表示は目安）が確認できます。	
		！	インクが少なくなると表示されます。しばらくは印刷できますが、早めに新しいインクカートリッジを用意してください。
		×	インク残量が限界値以下になると表示されます。
	プリントヘッドのノズルチェック	プリントヘッドのノズル（インク吐出部）が詰まっているかどうかを確認します。 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」37 ページ	
	プリントヘッドのクリーニング	プリントヘッドのノズルをクリーニングして、目詰まりを解消させます。 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」37 ページ	
	プリントヘッドのギャップ調整	プリントヘッドのギャップ（ずれ）を調整します。印刷結果がぼやけている、文字や罫線がガタガタしているときにお試しください。 • ギャップ調整パターン印刷中に給紙機構の動作音がしても故障ではありません。 • 実行しても改善されないときは、パソコンと接続し、プリンタードライバーからのギャップ調整をお試しください。 『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「メンテナンス」-「印刷のずれ（ギャップ）調整」	
	インクカートリッジ交換	インクカートリッジを交換します。 「インクカートリッジの交換」35 ページ	
	音の設定	操作音のオン・オフを設定します。	
	LCD 明るさ調整	LCD の明るさを調整します。	
	スクロール速度調整	LCD に表示されている文字のスクロール速度を調整します。	

項目名	説明	
プリンターのお手入れ（つづき）	スリープ移行時間設定	プリンターを最後に操作してからスリープモードに移行するまでの時間を設定します。設定した時間になるとディスプレイに時刻が表示されます。
	日付 / 時刻設定	日時や時刻を設定します。 ☞『準備ガイド』－「日時設定」
	言語選択 /Language	操作パネルに表示される言語を選択します。

ファクスモード

操作パネルで、【ファクス】－【メニュー】を押して、【▲】【▼】で項目・設定値を選択します。

ﾌｧｸｽ 04:00 PM

項目名	説明		
画質	ドラフト	文字と写真が混在した原稿では［きれい］をお勧めします。原稿の内容や画質によって送信時間は異なります。	
	標準		
	きれい		
濃度	－４～＋４	ファクス送信時の濃度を設定します。	
時刻指定送信	しない	時刻を指定して送信（モノクロのみ）します。 ☞「時刻指定送信」31 ページ	
	する		
通信種別	送信	通常の送信をします。	
	ポーリング受信	相手側ファクスに蓄積された原稿が受信できます。 ☞「ファクス受信の仕方」32 ページ	
ファクス設定	レポート印刷	ファクス機能設定リスト	送受信、回線の現在の設定値を印刷します。
		通信管理レポート	送受信結果の一覧を印刷または表示します。
		通信結果レポート	最後にファクス送信またはポーリング受信した通信結果を印刷します。
		短縮ダイヤルリスト	リストを一覧印刷します。
		グループダイヤルリスト	
		受信文書再印刷	本製品のメモリーに蓄積されているファクスデータを、日付の新しい順に印刷します。蓄積されたデータが本製品のメモリー容量を超えると、古い順から自動的に削除されます。削除されたファクスデータの再印刷はできません。
		プロトコルログ	最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。

項目名	説明		
ファクス設定（つづき）	短縮ダイヤル登録 / グループダイヤル設定	新規登録	短縮ダイヤルとグループダイヤル合わせて 60 件（合計 60 電話番号）まで登録できます。 送信方法は以下をご覧ください。 ☞「短縮ダイヤル・グループダイヤル送信」30 ページ • 不意の故障などに備え、電話帳データはこまめにバックアップすることをお勧めします。 • パソコンからの電話番号登録は、Fax Utility のヘルプをご覧ください。
		編集	
		削除	
	基本機能	自動受信	自動で受信したいときは「オン」に設定します。また、外付電話機が接続されていないときは、自動受信モードに設定します。
		画質	文字と写真が混在した原稿では［きれい］をお勧めします。原稿の内容や画質によって送信時間は異なります。
		濃度	ファクス送信時の濃度を－ 4 ～＋ 4 の間で設定します。
		自動縮小印刷	受信データのサイズが用紙サイズより長いときに、縮小印刷するかどうかを設定します。ただし、データによっては縮小できないことがあります。
		結果レポート	送信結果を印刷します。［エラー時のみ］を選択するとエラー送信の内容のみ印刷します。
	回線設定	エラー訂正（ECM）	回線トラブルを自動的に修復する ECM 機能を有効にするかどうかを設定します。
		ファクス通信モード	通信の開始速度を設定します。通信エラーが頻繁に起こるときや、海外または IP 電話環境で通信するときは、［確実（G3）］をお勧めします。
		呼び出し回数	着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数（1 ～ 15）を設定します（初期値は 5）。回数を多くしすぎると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。 ☞「呼び出し回数」25 ページ
		ダイヤルトーン検出	ダイヤルトーンを検出してからダイヤルを開始するかどうかを設定します。［する］を選択すると、早く確実にダイヤルできます。ダイヤルできないときは［しない］にしてください。ただし、環境によっては番号の最初が抜けるなど、誤った番号に接続される可能性があります。
		回線種別	電話機のダイヤルボタンを押したときに「ピッポッパッ」という音がするタイプは［プッシュ］を、「カタカタカタ」や「ジージージー」という音がするタイプは［ダイヤル（10PPS または 20PPS）］を選択してください。 ☞「回線種別」25 ページ
	ファクス機能診断	電話回線との接続状態などを A4 サイズの普通紙に印刷します。問題があったときは、診断レポートに記載されている対処方法をお試しください。	
	自局設定	自局名と自局番号を、ソフトキーで入力して設定します。ソフトキーの使い方は以下を参照してください。 ☞「文字の入力」47 ページ 自局名で 40 文字、自局番号で 20 文字まで入力できます。 ☞「自局設定」26 ページ	
購入時の設定に戻す	「コピーモード」－「購入時の設定に戻す」をご覧ください。		
ネットワーク設定	「コピーモード」－「ネットワーク設定」をご覧ください。		
プリンターのお手入れ	「コピーモード」－「プリンターのお手入れ」をご覧ください。		

スキャンモード

操作パネルで、【スキャン】を押して、【▲】【▼】で項目を選択します。

1.ｽｷｬﾝしてﾊﾟｿｺﾝへ
OKを押してください。

項目名	説明
スキャンしてパソコンへ	写真や雑誌などの印刷物をスキャンして、パソコンに保存できます。 「スキャンモード」34 ページ
スキャンしてパソコンへ（PDF）	
スキャンしてパソコンへ（E メール）	

【メニュー】を押して、【▲】【▼】で項目を選択します。

1.購入時の設定に
OKを押してください。

項目名	説明
購入時の設定に戻す	「コピーモード」－「購入時の設定に戻す」をご覧ください。
ネットワーク設定	「コピーモード」－「ネットワーク設定」をご覧ください。
プリンターのお手入れ	「コピーモード」－「プリンターのお手入れ」をご覧ください。

セット方法

印刷用紙

印刷できる用紙と設定

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙（純正品）のご使用をお勧めします。セット可能枚数を超えてセットしないでください。以下は 2012 年 5 月現在の情報です。

■ エプソン専用紙（純正品）

用紙名称		対応サイズ	セット可能枚数	印刷できる面
写真用紙	写真用紙クリスピア＜高光沢＞	L 判・KG サイズ・2L 判・六切 *1・A4	1 枚	より光沢のある面
	写真用紙＜光沢＞	L 判・KG サイズ・2L 判・ハイビジョンサイズ *1・六切 *1・A4	20 枚 *2	
	写真用紙＜絹目調＞	L 判・KG サイズ・2L 判・ハイビジョンサイズ *1・六切 *1・A4	20 枚 *2	
	写真用紙エントリー＜光沢＞	L 判・KG サイズ・2L 判・A4	20 枚 *2	
光沢紙	フォト光沢紙 *1	A4	1 枚	
マット紙	スーパーファイン紙 *1	A4	80 枚	より白い面
	フォトマット紙 *1	A4	1 枚	
普通紙	両面上質普通紙＜再生紙＞	A4	80 枚 *3	両面
ハガキ	スーパーファイン専用ハガキ *1	ハガキ	30 枚	両面
バラエティー用紙	スーパーファイン専用ラベルシート *1	A4	1 枚	白い面

*1: パソコンからの印刷時のみ対応
*2: 印刷結果がこすれたりムラになったりするときは 1 枚ずつセットしてください。
*3: 片面に印刷済みの用紙は 30 枚まで

■ 市販の用紙

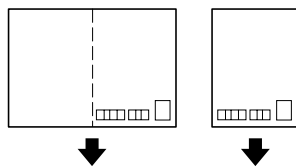
用紙名称		対応サイズ	セット可能枚数	印刷できる面
普通紙	コピー用紙・事務用普通紙	A4・B5・A5*1・A6*1・Letter*1	用紙ガイドの▼マークまで *2	両面
		Legal*1	1 枚	
		ユーザー定義サイズ	1 枚	
ハガキ *3	郵便ハガキ *4	ハガキ	30 枚	両面
	郵便ハガキ（インクジェット紙）*4	ハガキ	30 枚	
	往復ハガキ *4	往復ハガキ	20 枚	
封筒	封筒 *1	長形 3 号・4 号	10 枚	両面
		洋形 1 号・2 号・3 号・4 号	10 枚	宛名面のみ

*1: パソコンからの印刷時のみ対応
*2: 片面に印刷済みの用紙は 30 枚まで
*3: 郵便光沢ハガキ＜写真用＞は対応していません。
*4: 郵便事業株式会社製

■ 用紙のセット方向

用紙は以下の向きにセットします。

ハガキ（宛名面）

印刷する面は上

ハガキ（通信面）

印刷する面は上

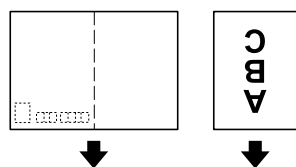
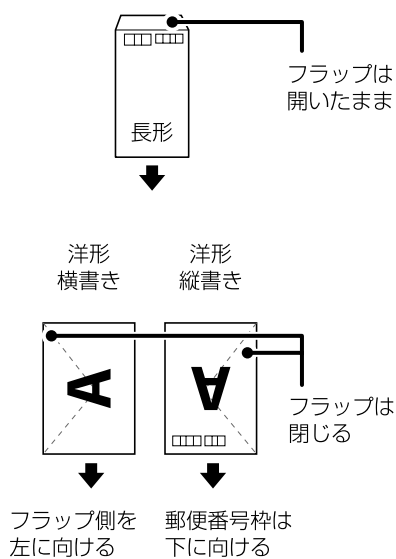
封筒（宛名面）

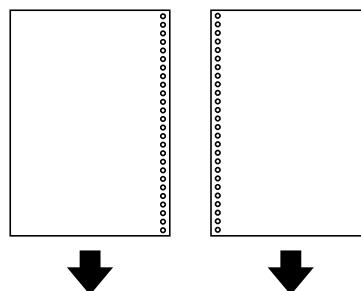
印刷する面は上

洋形
横書き

洋形
縦書き

フラップ側を
左に向ける

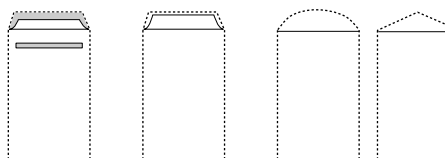
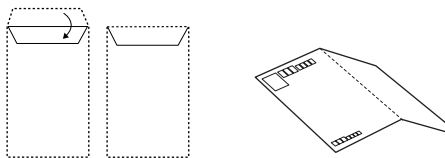
郵便番号枠は
下に向ける

穴あき用紙

穴の位置は左右どちらでも
セットできる

穴位置にかからないように印刷データを調整してください。

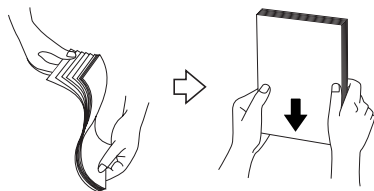
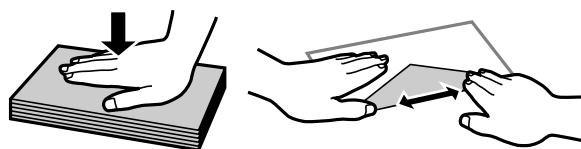
■ 印刷できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

- 波打っている、破れている、切れている、折りがある、湿っている用紙や反っている、丸まっている、シールなどが貼ってある用紙

- のり付けおよび接着の処理が施された封筒、二重封筒、窓付き封筒やフラップが円弧や三角形状の長形封筒や角形封筒

- フラップを一度折った長形封筒や一度折った往復ハガキ

- 写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキ（ただし手差し給紙のみ印刷可）

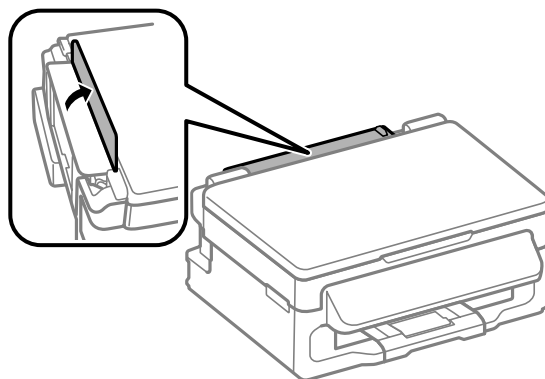
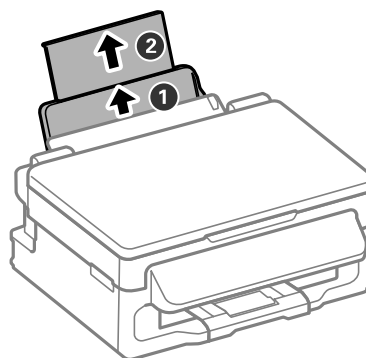
■ 取り扱い上のご注意

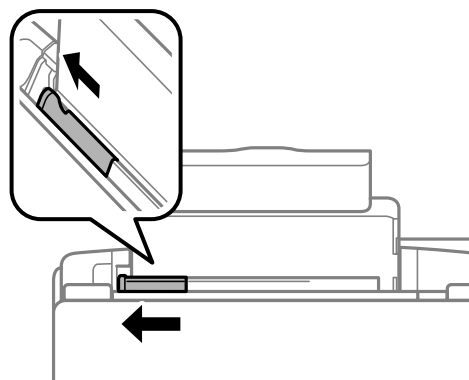
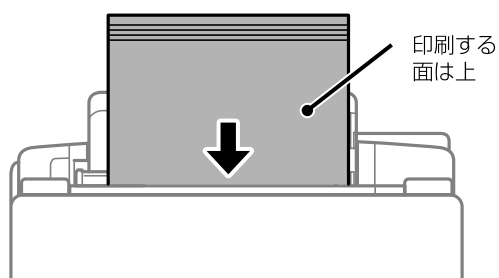
- 用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項をご確認ください。
- 用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、側面を整えてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷する面に傷が付くおそれがあります。

- 封筒をセットするときは、よくさばいて側面を整えてください。膨らんでいるときは平らになるように手でならし、膨らみを取り除いてください。

- ハガキへの両面印刷は、片面印刷後しばらく乾かし、反りを修正して（平らにして）からもう一方の面に印刷してください。宛名面から先に印刷することをお勧めします。

印刷用紙のセット

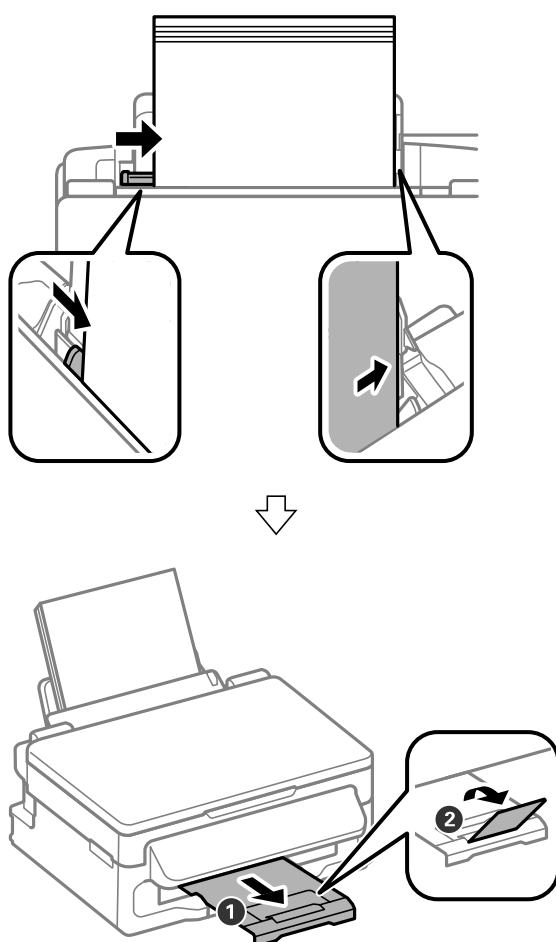
用紙をセットする向きは以下をご覧ください。

「用紙のセット方向」21 ページ

1 給紙口カバーを開きます。

2 用紙サポートを開きます。

3 用紙ガイドを広げて、用紙をセットします。

「印刷できる用紙と設定」19 ページ

参考

穴あき用紙（A4・A5・B5・Lettter・Legal）は 1 枚のみセット可能です。

4 用紙ガイドを用紙に合わせ、排紙トレイを引き出します。

以上で終了です。

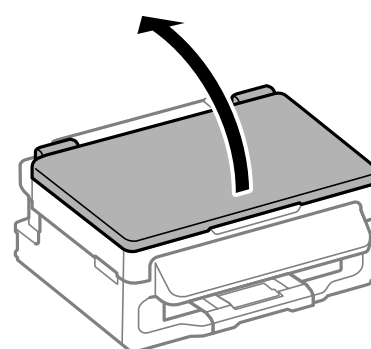
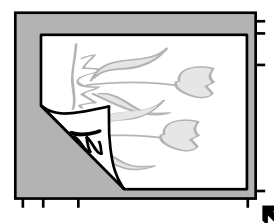
原稿のセット

⚠注意

原稿カバーは、指を挟まないように注意しながら、ゆっくり開閉してください。

!重要

厚い雑誌などのコピー、スキャンを行うときは、原稿台に蛍光灯の光が直接入らないようにしてください。

1 原稿カバーを開け、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてから原稿をセットします。

原稿

原稿面は下

原稿台の下端から 1.5mm、右端から 1.5mm の範囲はスキャンできません。

2 コピーが終了したら、原稿を取り出します。

以上で終了です。

各モードの使い方

コピーモード

コピーの手順は以下です。

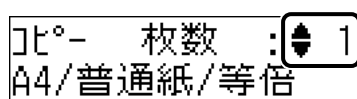
1 **原稿と印刷用紙をセットします。**

☞「原稿のセット」23 ページ
☞「印刷用紙のセット」22 ページ

2 **【コピー】を押します。**

3 **枚数を設定します。**

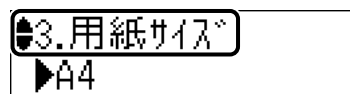
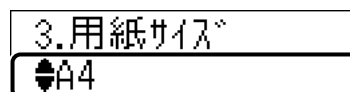
【▲】【▼】で数字が変わります。長押しすると、早送りができます。

ｺﾋﾟｰ　枚数　：1
A4/普通紙/等倍

4 **必要に応じてコピー設定をします。**

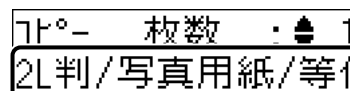
【メニュー】を押して変更する項目を選択します。

3.用紙ｻｲｽﾞ
A4

設定値を選択します。

3.用紙ｻｲｽﾞ
A4

【戻る】：1 つ前の画面に戻る

5 **【メニュー】を押し、コピーの設定を確認します。**

ｺﾋﾟｰ　枚数　：1
2L判/写真用紙/等倍

設定項目の詳細は以下をご覧ください。
☞「設定項目の説明」12 ページ

6 **モノクロまたはカラーの【スタート】を押してコピーを開始します。**

【中止】：コピーの中止

以上で終了です。

ファクスモード

ファクスの準備

■ ファクス機能を使うために

初めてファクスを使うときや、設定を変更するときは、以下を確認してください。

- 呼び出し回数
- 回線種別
- 自局設定

> **!重要**
> ファクスとして使う場合は、電源を常に入れた状態にしてください。電源を切ると、本製品のメモリーに保存されている全ての受信データが消去されます。

呼び出し回数

ファクス受信するまでの呼び出し回数を設定します。

1 【ファクス】－【メニュー】を押します。

2 ［ファクス設定］を選択します。

5.ファクス設定
OKを押してください。

3 ［回線設定］を選択します。

5.回線設定
OKを押してください。

4 ［呼び出し回数］を選択します。

5 呼び出し回数を設定します。

3.呼び出し回数
5

以上で終了です。

回線種別

ファクス通信するための回線を設定します（初回の送信時に自動で設定されます）。自動で設定されないときや、電話回線を変更したときは、以下の手順で変更してください。

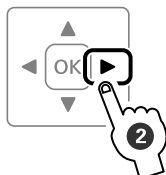
1 【ファクス】－【メニュー】を押します。

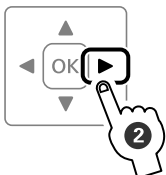
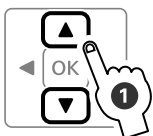
2 ［ファクス設定］を選択します。

5.ファクス設定
OKを押してください。

3 ［回線設定］を選択します。

5.回線設定
OKを押してください。

4 ［回線種別］を選択します。

5 使用している回線を選択します。

5.回線種別
プッシュ

［プッシュ］
電話をかけるときに「ピッポッパ」と音がする回線（プッシュ回線）を使用しているときに選択します。

［ダイヤル（10PPS）］/［ダイヤル（20PPS）］
電話をかけるときに「カタカタ」または「ジージー」と音がする回線（ダイヤル回線）を使用しているときに選択します。

回線種別がわからないときは、［プッシュ］→［ダイヤル（10PPS）］→［ダイヤル（20PPS）］の順に設定を変えて通信できるか試してみてください。

以上で終了です。

自局設定

自局名と自局番号を設定します。

1 【ファクス】－【メニュー】を押します。

2 ［ファクス設定］を選択します。

5.ファクス設定
OKを押してください。

3 ［自局設定］を選択します。

7.自局設定
OKを押してください。

4 自局名を登録するときは［自局名登録］を、自局番号を登録するときは［自局番号登録］を選択します。

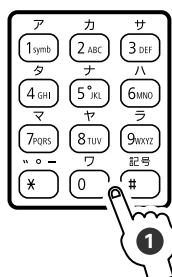
1.自局名登録
▶

5 名前または番号を入力します。

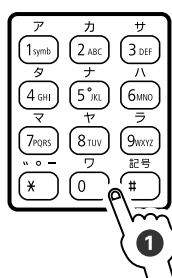
入力できる文字種は以下のページをご覧ください。
☞「文字の入力」47 ページ

• 自局名登録

40 文字まで入力できます。

自局名登録

• 自局番号登録

20 文字まで入力できます。

自局番号登録

以上で終了です。

■ 宛先登録

短縮ダイヤルでは宛先番号の入力が簡単にでき、グループダイヤル（短縮ダイヤルをグループにして登録）では 1 回の操作で複数の宛先が指定できます。

参考

- 不意の故障などに備え、電話帳のデータはこまめにバックアップすることをお勧めします。
☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）-「便利なファクス機能」
- 添付の FAX Utility を使うと、パソコンから電話番号の登録ができます。詳細は FAX Utility のヘルプをご覧ください。
- 送信方法は以下のページをご覧ください。
☞「短縮ダイヤル・グループダイヤル送信」30 ページ

短縮ダイヤル登録

短縮ダイヤルとグループダイヤルを合わせて 60 件（合計 60 電話番号）まで登録できます。

1【ファクス】－【メニュー】を押します。

2［ファクス設定］を選択します。

5.ﾌｧｸｽ設定
OKを押してください。

3［短縮ダイヤル登録］を選択します。

2.短縮ﾀﾞｲﾔﾙ登録
OKを押してください。

4 ［新規登録］を選択します。

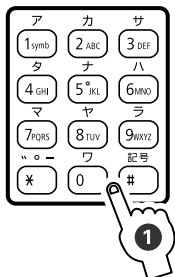
1.新規登録
OKを押してください。

［編集］：登録済み短縮ダイヤルの編集
［削除］：登録済み短縮ダイヤルの削除

5 登録する番号を選択します。

[01] 短縮ダイヤルリスト
01

6 宛先番号を入力します。

番号入力
0123456789

7 宛名を入力します。

30 文字まで入力できます。入力できる文字種は、以下のページをご覧ください。
☞「文字の入力」47 ページ

名前

［←］：1 文字削除（バックスペース）
［▶］：空白

8 入力が終了したら、【**OK**】を押します。

以上で終了です。

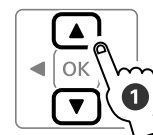
グループダイヤル設定

グループダイヤルと短縮ダイヤルを合わせて 60 件（合計 60 電話番号）まで登録できます。

* グループダイヤルは、短縮ダイヤルを 30 件まで登録できます。

1 【ファクス】－【メニュー】を押します。

2 ［ファクス設定］を選択します。

5.ファクス設定
OKを押してください。

3 ［グループダイヤル設定］を選択します。

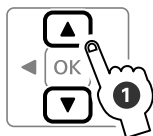
◆3.ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲﾔﾙ設定
OKを押してください。

4 ［新規登録］を選択します。

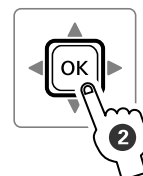
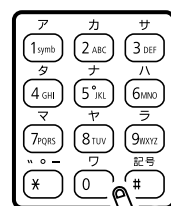
◆1.新規登録
OKを押してください。

［編集］：登録済みグループダイヤルの編集
［削除］：登録済みグループダイヤルの削除

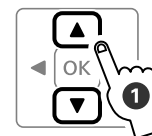
5 登録する番号を選択します。

◆[02]ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲﾔﾙﾘ
02

6 グループダイヤル名を入力します。

30 文字まで入力できます。入力できる文字種は、以下のページをご覧ください。
☞「文字の入力」47 ページ

名前

［←］：1 文字削除（バックスペース）
［▶］：空白

7 グループにする短縮ダイヤルを選択します。

◆[01]*でｸﾞﾙｰﾌﾟに登
01 ｶｲｼｬ

［＊］を外すには、もう一度【＊】を押してください。

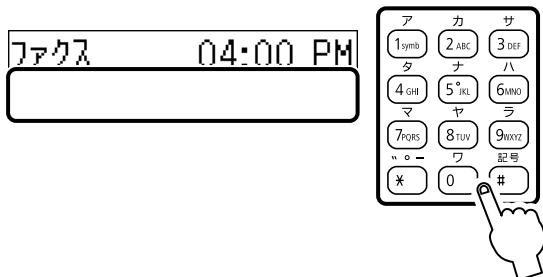
8 宛先を全て登録したら、【OK】を押します。

以上で終了です。

ファクス送信する

■ ファクス送信の基本操作

1 【ファクス】を押します。

2 数字入力（テンキー）で宛先（ファクス番号）を入力します。

【メニュー】：画質や濃度などの変更
☞「ファクスモード」16 ページ

3 モノクロまたはカラーの【スタート】を押します。

この後は、画面の指示に従って操作してください。

［中止］：送信の中止

以上で終了です。

ファクス送信後、相手先番号が話し中などでつながらないときは、自動で 2 回、1 分おきにリダイヤルします。

■ いろいろなファクス送信

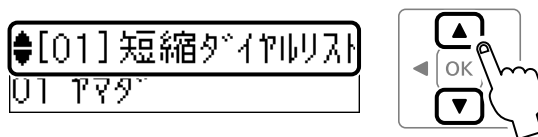
短縮ダイヤル・グループダイヤル送信

登録方法は以下のページをご覧ください。
☞「宛先登録」27 ページ

1 【ファクス】を押します。

2 【短縮 / グループダイヤル】を押します。

グループダイヤル送信時は 2 回押してください。

3 宛先を選択します。

4 選択した宛先を確認し、モノクロまたはカラーの【スタート】を押します。

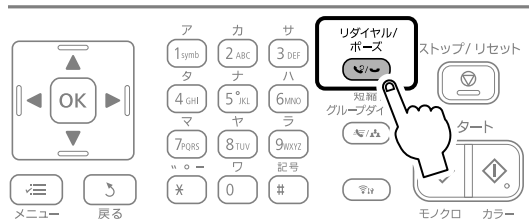
グループダイヤルはモノクロで送信されます。

［中止］：送信の中止

以上で終了です。

リダイヤル送信

最後に送信した宛先に再送信（グループダイヤルの場合は、グループの最後にある宛先にのみ再送信）できます。

1 【ファクス】－【リダイヤル / ポーズ】を押します。

【メニュー】：画質や濃度などの変更
☞「ファクスモード」16 ページ

2 モノクロまたはカラーの【スタート】を押します。

ファクス送信が開始されます。
グループダイヤルはモノクロで送信されます。

［中止］：送信の中止

以上で終了です。

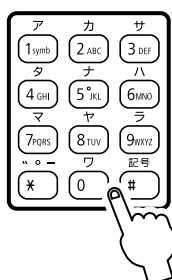
手動送信（外付電話機接続時のみ）

ファクスを送信する前に通話したいときや、相手のファクスが自動的に切り替わらないときは、以下の手順で送信します。

1 原稿をセットしてから外付電話器の受話器を上げます。

☞「原稿のセット」23 ページ

2 ［送信］を選択します。

通信可能です。
1:送信 2:受信

3 送信先にダイヤルします。

4 ファクス信号（ピー音）が聞こえたら、モノクロまたはカラーの【スタート】を押して受話器を置きます。

以上で終了です。

時刻指定送信

指定した時刻にモノクロで送信します。

!重要

- この設定をすると、指定時刻が過ぎるまで他のファクスを送信できません。
- 指定時刻に電源が入っていなかったときは、電源を入れた時点で送信が開始されます。

1 【ファクス】を押します。

2 宛先を入力します。

☞「ファクス送信の基本操作」30 ページ

3 【メニュー】を押します。

4 ［時刻指定送信］を選択します。

3.時刻指定送信
しない

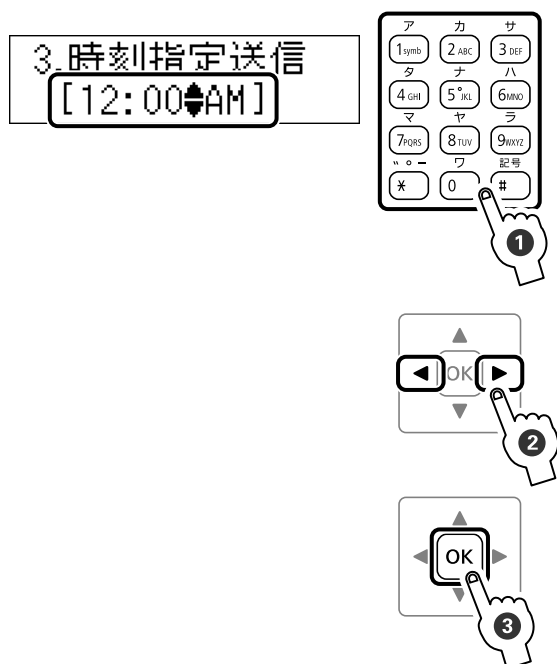
5 ［する］を選択します。

3.時刻指定送信
する

6 **テンキー（数字キー）で時刻を入力して、【OK】を押します。**

① 数字を選択（時刻設定が［12H］表示のときは、［AM］・［PM］の選択ができます）します。

② 変更するときは【◀】【▶】で移動させて数字を設定します。

③ 設定が終わったら【OK】を押します。

7 **【戻る】を押して、モノクロの【スタート】を押します。**

［ストップ / リセット］：予約の解除

以上で終了です。

ファクス受信の仕方

自動受信

ファクス利用が多い方にお勧めです。
ただし、写真印刷などで普通紙以外の用紙（写真用紙など）を印刷するときは、手動受信をお勧めします。

！重要

- 外付電話機を接続していないときは、必ず自動受信モードに設定してください。
- 外付電話機の留守番電話機能を有効にしているときは、本製品が自動受信するまでの呼び出し回数を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。少なく設定すると、先に本製品がファクス受信の応答を始めてしまうため、留守番電話への録音や普通の通話ができません。
- 呼び出し回数の設定方法は、以下のページをご覧ください。
☞「呼び出し回数」25 ページ

自動受信の設定になっているかは、【ファクス】－【メニュー】－［ファクス設定］－［基本機能］－［自動受信］－［オン / オフ］で確認します。

受信データを印刷するため、A4 サイズの普通紙を常にセットしておいてください。受信が完了すると、自動的に印刷が開始されます。

参考

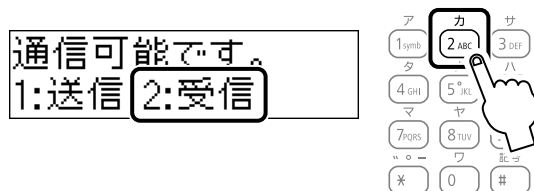
- 留守番電話の応答中にファクス信号を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります。
- 外付電話機を接続せずに、操作パネルの［音の設定］をオフにすると、着信音は鳴りません。
☞「コピーモード」12 ページ
- 着信中に外付電話機の受話器を上げ、ファクス信号（ポー音）が聞こえたらそのままお待ちください。自動的にファクス受信に切り替わります。ファクス信号が聞こえなくなり「接続中です。」という画面が表示されたら、受話器を置いてください。
- プリンターのエラー時（インクカートリッジの交換が必要なときや用紙が詰まって印刷できないとき）に受信したデータは、メモリーに記録されます。エラーを解除するとデータの印刷ができます。
☞「ファクスモード」16 ページ

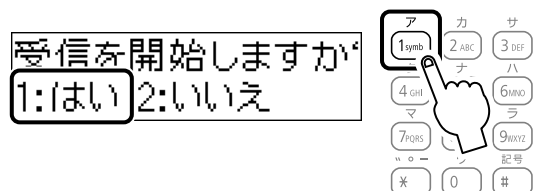
以上で終了です。

手動受信（外付電話機接続時のみ）

ファクス利用が少ない方は、一度電話に出て相手がファクスかどうかを確認してから受信する手動受信をお勧めします。
ただし、留守番電話の応答中はファクス信号が検出できません。不在時にファクス受信する可能性があるときは自動受信モードに切り替えてください。
自動受信モードの切り替えは、【ファクス】－【メニュー】－［ファクス設定］－［基本機能］－［自動受信］－［オン / オフ］で設定します。

1 外付電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器（親機 / 子機）を上げます。

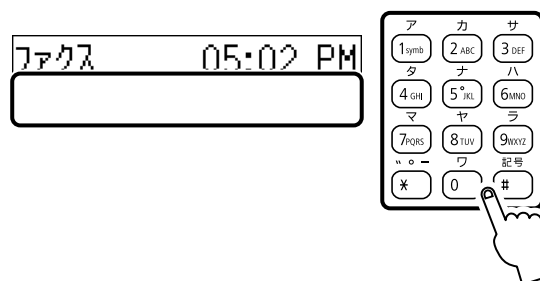
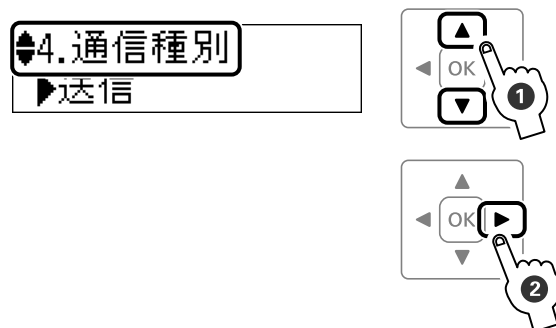
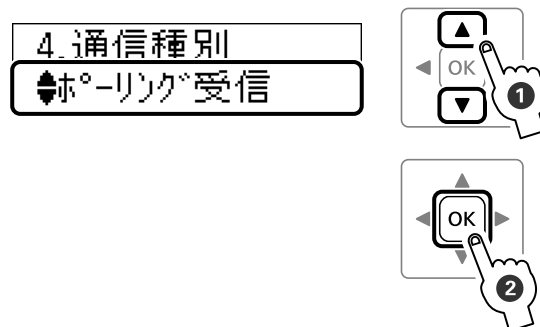
2 ファクス信号（ポー音）が聞こえたら【2】を押します。

3 【1】を選択してから、受話器を置きます。

ファクス受信が開始されます。

以上で終了です。

ポーリング受信

相手側のファクスに蓄積されたデータを受信できます。ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。ただし、音声ガイダンスに従って操作するファクス情報サービスには対応していません。
音声ガイダンスのファクス情報サービスを利用するときは、外付電話機を接続し、手動受信の手順 2 以降に従って操作してください。
☞「ファクス受信の仕方」32 ページ

1 【ファクス】を押します。

2 ファクス番号を入力します。

3 【メニュー】－［通信種別］を選択します。

4 ［ポーリング受信］を選択します。

5 **【メニュー】を押します。**

6 **モノクロまたはカラーの【スタート】を押します。**

ファクス受信が開始されます。

7 **以下の画面が表示されたら、【OK】を押します。**

ファクスデータが印刷されます。

ﾌｧｸｽ印刷
用紙をｾｯﾄしてOKを押

以上で終了です。

スキャンモード

写真や雑誌などの印刷物をスキャンしたデータは以下の方法で保存できます。

- スキャンしてパソコンへ
- スキャンしてパソコンへ（PDF）
- スキャンしてパソコンへ（E メール）

本製品とパソコンを接続し、付属のソフトウェアがインストールされている必要があります。詳細は以下をご覧ください。
☞ ユーザーズガイド（電子マニュアル）-「スキャン」-「プリンター操作パネルのスキャン機能」

ここでは原稿をスキャンしてパソコンに保存する方法を説明します。

1 **原稿をセットし、【スキャン】を押して、スキャンメニューを選択します。**

2 **スキャンメニューから、[原稿をスキャンしてパソコンへ（xxx）]を選択します。**

3 **スキャンデータを保存するパソコンを選択します。**

> **参考**
>
> - ファイル形式や保存フォルダーの指定など、付属のソフトウェア「Epson Event Manager」を使用すると、使用頻度の高いスキャン動作への変更ができます。
> ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）-「スキャン」-「プリンター操作パネルのスキャン機能」
> - プリンターの操作パネルに表示されるパソコンは、20 台までです。
> - スキャンデータを保存するパソコンがネットワーク上にある場合、パソコンの「コンピューター名」の先頭から 15 文字までが操作パネルに表示されます。Epson Event Manager で「ネットワークスキャン名」を設定していると、ネットワークスキャン名が表示されます。
> - コンピューター名に半角英数字以外の文字が含まれていると、スキャンデータを保存するパソコンが操作パネルに正しく表示されません。この場合は、Epson Event Manager で「ネットワークスキャン名」を設定してください。設定方法は Epson Event Manager のヘルプをご覧ください。

以上で終了です。

メンテナンス

インクカートリッジの交換

以下の型番のインクカートリッジを用意してください。
☞「裏表紙」

交換の前に、以下の注意事項をご確認ください。
☞「使用上のご注意」4 ページ

参考

- 大量に印刷するときはインク残量を確認し、事前に予備のインクカートリッジを用意してください。インク残量は、【メニュー】の［プリンターのお手入れ］－［インク残量の表示］で確認できます。
- コピー中にインク交換が必要になったらコピーを中止し、インク交換後に残りのコピーをやり直してください。

インク交換に関するメッセージが表示される前に交換を行うときは、手順 3 から作業してください。

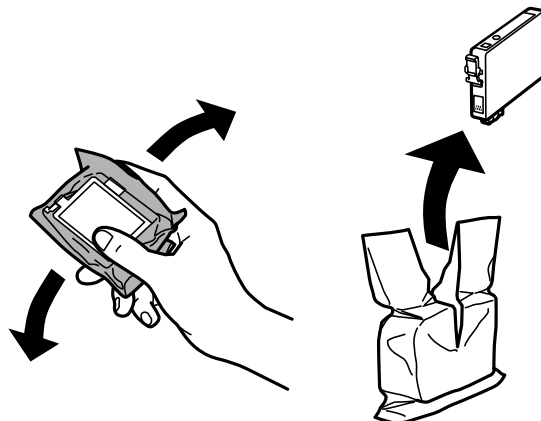
1 **交換が必要なインクカートリッジを確認して、【OK】を押します。**

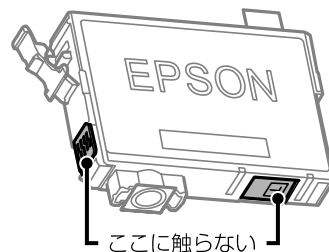
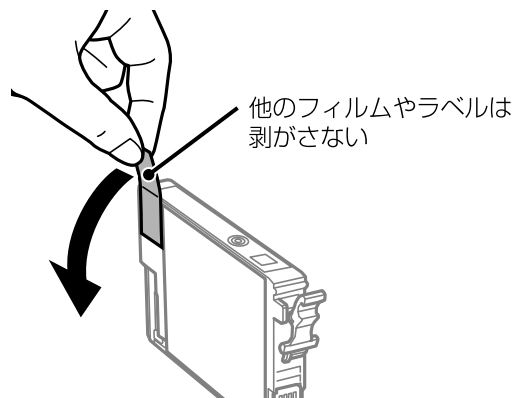
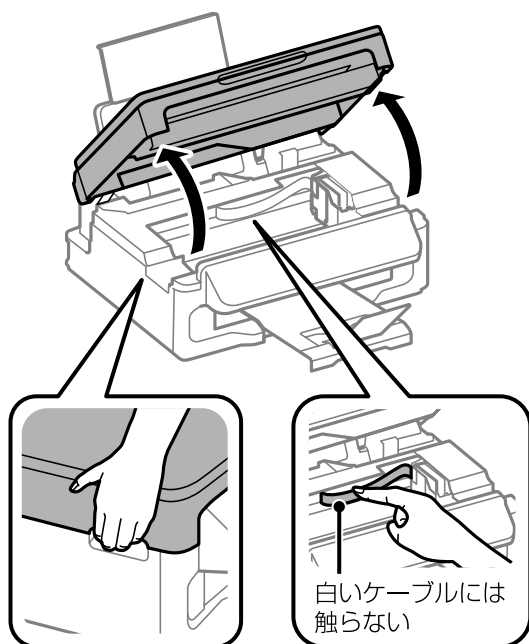
インク量が限界値以下
OKを押してください。

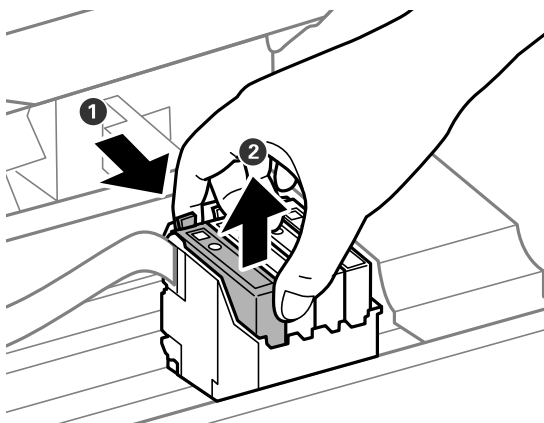
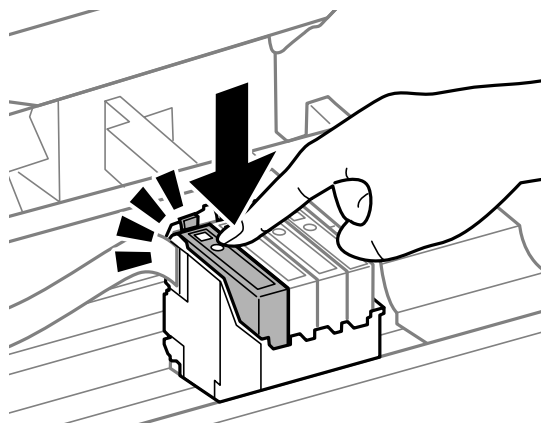
標準カートリッジと小容量カートリッジは混在できます。
エプソンの純正インクカートリッジ型番は以下をご覧ください。
☞「裏表紙」

2 **［1：はい］を選択します。**

カートリッジの交換をした
1:はい 2:いいえ

3 **インクカートリッジを 4 ～ 5 回振ってから袋から出します。**

！重要

以下の場所を触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。

4 **黄色いフィルムのみを剥がします。**

5 **スキャナーユニットを開けます。**

6 **交換するインクカートリッジを取り外します。**

フックをつまみ、真上に取り出してください。外れないときは、強く引き抜いてください。

7 **新しいインクカートリッジをまっすぐ挿入し、「押」の部分を「カチッ」と音がするまで押し込みます。**

8 **スキャナーユニットを閉じて、【OK】を押します。**

インクの充填が始まります。充填中（約 1 分半）は電源を切らないでください。

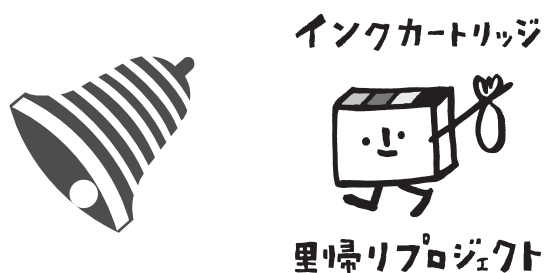
以上で終了です。

純正インクカートリッジのお勧め

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

インクカートリッジの回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。より身近に活動に参加いただけるように、店頭回収ポストに加え、郵便局や学校での回収活動を推進しています。使用済みのエプソン純正インクカートリッジを、最寄りの「回収箱設置の郵便局」や「ベルマークのカートリッジ回収活動に参加している学校」にお持ちください。
回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。
＜ http://www.epson.jp/recycle/ ＞

インクカートリッジ
里帰りプロジェクト

学校へ持っていこう！

郵便局へ持っていこう！

インクカートリッジの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

ノズルチェックとヘッドクリーニング

プリントヘッドのノズルが目詰まりすると、印刷がかすれたり、スジが入ったりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェック（目詰まり確認）をしてください。
写真を印刷する前のノズルチェックもお勧めします。

1 **A4 サイズの普通紙をセットしてから、【メニュー】－［プリンターのお手入れ］－［プリントヘッドのノズルチェック］を選択します。**

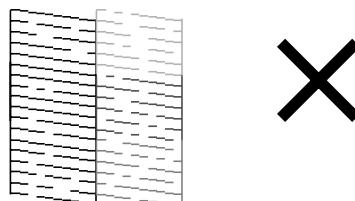
ノズルチェックパターンが印刷されます。

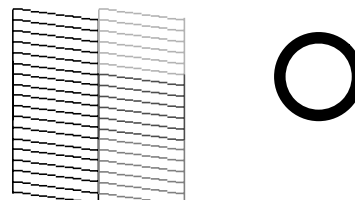
ここで［プリントヘッドのクリーニング］を選択すると、ノズルチェックせずにヘッドクリーニングができます。

2 **ノズルチェックパターンを確認します。**

明るい場所で確認してください。電球色の蛍光灯などの下では、ノズルチェックパターンが正しく確認できないことがあります。

ノズルチェックパターン

■ 印刷されないラインがある

ノズルは目詰まりしています。
手順 3 に進んでください。

■ すべてのラインが印刷されている

ノズルは目詰まりしていません。
［ノズルチェック終了］を
選択してください。

3 **［プリントヘッドのクリーニング］を選択します。**

！重要

ヘッドクリーニング中は、電源を切らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

4 **ヘッドクリーニングが終わったら、［ノズルチェック］を選択し、再度ノズルチェックパターンを印刷します（手順 2 に戻ります）。**

ノズルチェックパターンの全てのラインが印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。

以上で終了です。

!重要

- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 4 回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で 6 時間以上放置* した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。
  時間をおくことによって、目詰まりが解消し、正常に印刷できるようになることがあります。
  それでも改善されないときは、エプソンの修理窓口に修理をご依頼ください。
  *：ファクスの自動受信などで印刷動作が入った場合は放置時間を延長してください。電源を切って放置することをお勧めします。
  ☞「お問い合わせ先」55 ページ
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることを防ぐため、電源の入 / 切は必ず電源ボタンで行ってください。
- プリントヘッドを常に最適な状態に保つために、定期的に印刷することをお勧めします。

困ったときは

詰まった用紙の取り除き方や、きれいに印刷できない、給排紙できないなどの対処法を説明します。

詰まった用紙の取り除き方

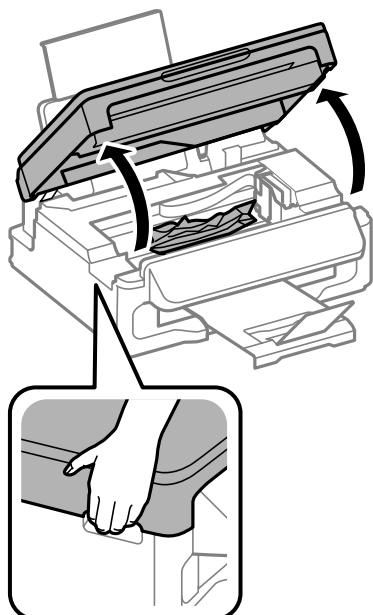
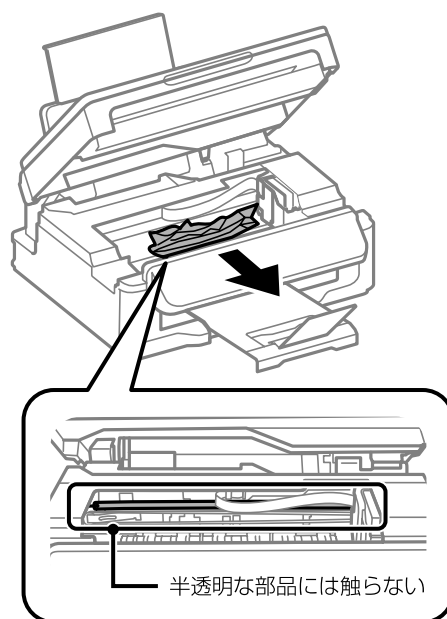
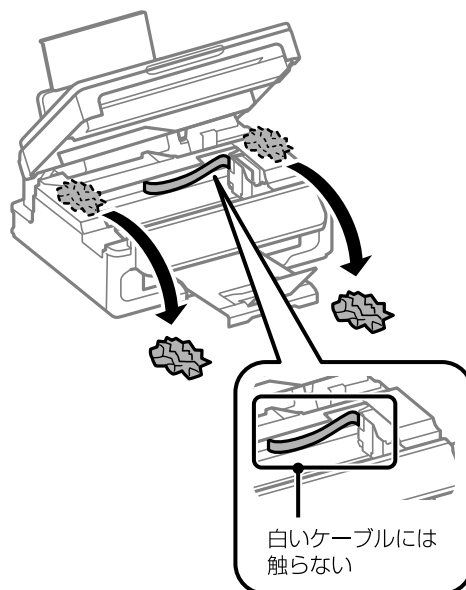
⚠注意

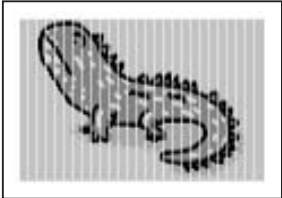
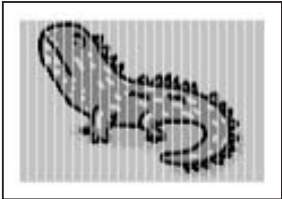
製品内部に手を入れて用紙を取り出すときは、操作パネルのボタンには触らないでください。また、突起などでけがをしないように注意してください。

!重要

- 用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張ると、本製品が故障することがあります。
- 内部の半透明部品には触らないでください。動作不良につながるおそれがあります。
- キャリッジ（インクカートリッジセット部）横の白いケーブルには絶対に触らないでください。

画面の指示に従い、用紙が詰まっている（紙片がちぎれて残っている）箇所を順番に確認して取り除いてください。

1 原稿カバーを閉じた状態で、スキャナーユニットを開けます。

2 用紙を取り除きます。

3 内部に詰まった用紙があれば取り除きます。

4 スキャナーユニットを閉じます。

以上で終了です。

メッセージが表示された

メッセージ	対処方法
プリンターエラー	電源を入れ直しても同じメッセージが表示されるときは、スキャナーユニットを開けて内部に異物（保護テープや保護材、用紙など）が入っていないか確認してください。
マニュアルをご覧ください。	本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。新しいインクカートリッジと交換してください。 ☞「インクカートリッジの交換」35 ページ
Recovery Mode	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 ①パソコンとプリンターを USB 接続します（リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません）。 ②エプソンのホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に近付いています。 お早めにエプソンの修理窓口に交換をご依頼ください。	廃インク吸収パッド * は、お客様による交換ができないため、エプソンの修理窓口に依頼してください。 このメッセージは、交換するまで定期的に表示されますが、印刷は続行できます。
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達しました。 エプソンの修理窓口に交換をご依頼ください。	廃インク吸収パッド * は、お客様による交換ができないため、エプソンの修理窓口に依頼してください。

*：クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを吸収する部品です。吸収量が限界に達する時期は使用状況によって異なります。限界に達すると、パッドを交換するまで印刷できません（インクあふれ防止のため）。保証期間経過後の交換は有料です。

トラブルへの対処

印刷品質

現象	対処方法
かすれる スジや線が入る 色合いがおかしい 色が薄い 印刷されない色がある ムラがある モザイクがかかったように印刷される 印刷されない（白紙のまま）	• ノズルが目詰まりしている可能性があります。プリントヘッドの状態を確認してください。 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」37 ページ • 消費期限が切れたインクカートリッジを使わないこと、推奨品（エプソン純正品）を使うことをお勧めします。 「インクカートリッジの交換」35 ページ • プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。ギャップ調整を行ってください。 「コピーモード」12 ページ 「ファクスモード」16 ページ 「スキャンモード」18 ページ 改善されないときはプリンタードライバーからの調整を試してみてください。 『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）-「メンテナンス」-「印刷のずれ（ギャップ）調整」 • 写真などへの印刷は、普通紙ではなくエプソン製専用紙に印刷することをお勧めします。エプソン製専用紙のおもて面に印刷してください。 「印刷できる用紙と設定」19 ページ • 印刷後の用紙は、十分に乾燥させてからアルバムやクリアファイル、ガラス付き額などに入れて保管・展示してください。 • 印刷後の用紙を重ねないでください。 • 乾燥させるときは、直射日光に当てたり、ドライヤーを使ったりしないでください。 • セットした用紙の種類と、印刷設定の［用紙種類］を合わせてください。 「印刷できる用紙と設定」19 ページ • 印刷品質の高いモード（［きれい］など）での印刷をお試しください。 普通紙に［標準品質］で印刷すると、スジが出ることがあります。 • 解像度の高い（画素数の多い）データで印刷してください。
2.5cm 間隔でスジが入る ぼやける 文字や罫線がガタガタになる	プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。ギャップ調整を行ってください。 「コピーモード」12 ページ 「ファクスモード」16 ページ 「スキャンモード」18 ページ 改善されないときは、プリンタードライバーからの調整を試してみてください。 『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）-「メンテナンス」-「印刷のずれ（ギャップ）調整」
コピーするとムラ･シミ･斑点が出る 裏写りする	• 原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。 • 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。 「本体のクリーニング」46 ページ • 原稿カバーや原稿を強く押さえ付けないでください。 • 原稿の紙が薄いときは、原稿台からコピーしてください。また、裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねてコピーしてください。

現象	対処方法
用紙が汚れる	• コピー濃度を下げてください。 ☞「コピーモード」24 ページ • 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。 • 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。 ☞「本体のクリーニング」46 ページ • 両面印刷時は、印刷した面を十分乾かしてから裏面に印刷してください。ハガキは、宛名面を先に印刷することをお勧めします。 • 本製品で使用できる用紙をお使いください。 ☞「印刷できる用紙と設定」19 ページ • 用紙を正しい方向でセットしてください。 ☞「印刷用紙のセット」22 ページ • 印刷後の用紙は、十分に乾燥させてからアルバムやクリアファイル、ガラス付きの額などに入れて、保存・展示してください。 • 印刷した用紙を乾燥させるときは、直射日光に当てたり、印刷面を重ねたり、ドライヤーを使ったりしないでください。 • フチなし設定印刷は、以下の用紙をお勧めします。 写真用紙、フォト光沢紙、フォトマット紙、各種郵便ハガキ、各種エプソン製専用ハガキ
フチなし印刷ができない	• 印刷設定で［フチなしコピー］を選択してください。 ☞「コピーモード」12 ページ • フチなし印刷に対応した用紙をお使いください。 写真用紙、フォト光沢紙、フォトマット紙、各種郵便ハガキ、各種エプソン製専用ハガキ
ハガキに縦長の写真を印刷すると、宛名面と上下が逆になってしまう	セットの向きを上下逆にしてください。 縦長写真のデータは、撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって、写真の上下（天地）が異なります。
印刷位置がずれる・はみ出す	• 用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。 ☞「印刷用紙のセット」22 ページ • 原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。コピー時は、ゴミや汚れのある範囲までをコピー対象にするため、印刷位置が大きくずれることがあります。 • 原稿を正しくセットしてください。 ☞「原稿のセット」23 ページ • セットした用紙のサイズと、印刷設定の［用紙サイズ］を合わせてください。 ☞「印刷できる用紙と設定」19 ページ
コピーすると画像が小さくなる	原稿台のガラス面が汚れている可能性があります。柔らかい布で拭いてください。

電源・操作パネル

現象	対処方法
電源が入らない 電源ランプが消灯したまま	•【電源】を少し長めに押してください。 • 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。また、壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。
電源が切れない	【電源】を少し長めに押してください。それでも切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため、その後に電源を入れ直し、【電源】で切ってください。
液晶ディスプレイに時刻のみが表示される	スリープモードになっています。操作パネルの【電源】以外のボタンを押すと元の画面に戻ります。
メッセージの意味がわからない	以下をご覧ください。 「メッセージが表示された」40 ページ

給紙・排紙

現象	対処方法
斜めに給紙される 重なって給紙される 用紙が給紙されない 用紙が排出されてしまう	• 用紙は正しくセットしてください。用紙ガイドは用紙サイズに合わせてください。 「印刷用紙のセット」22 ページ • 印刷できる用紙をお使いください。 「印刷できる用紙と設定」19 ページ • 水平な場所に設置されているか、使用環境に問題がないかを確認してください。 「総合仕様」48 ページ • 内部のローラーが汚れている可能性があります。 お使いのエプソン製専用紙に、クリーニングシートが添付されているときは、クリーニングシートを使ってローラーをクリーニングしてください。 「本体のクリーニング」46 ページ • 印刷処理が中断された可能性があります。 印刷中にスキャナーユニットを開けたらすぐに閉じてください。印刷処理が一定の時間中断すると、印刷中の用紙を排出するように設計されています。
用紙が詰まった	取り除いてください。 「詰まった用紙の取り除き方」39 ページ

ファクス

現象	対処方法
外付電話機で通話できない	本製品の EXT. ポートに外付電話を接続し、受話器を上げて「ツー音」が聞こえるかを確認してください。「ツー音」が聞こえれば電話機に問題はありません。「ツー音」が聞こえないときは、モジュラーケーブルの接続（接続ポートの向き）が正しいか確認してください。
受信も送信もできない	• ファクス診断してください。 ☞「ファクスモード」16 ページ •「通信エラー」と表示されたら、回線が不安定になっている可能性があります。頻繁に発生するときはエプソンの修理窓口にお問い合わせください。 ☞「お問い合わせ先」55 ページ • ファクス通信モードを確実（G3）にしてください。 ☞「ファクスモード」16 ページ
送信できない 指定時刻に送信できない	• ファクス診断してください。 ☞「ファクスモード」16 ページ • 回線種別の設定を実態に合わせてください。 ☞「回線種別」25 ページ •「ダイヤルトーンがありません」と表示されたら、ファクス回線設定の［ダイヤルトーン検出］を［しない］に設定してください。 • ADSL 接続時は、スプリッターなどの装置を外し、電話コンセントに直接接続して送信してみてください。正常に送信できれば本製品には問題がありません。インターネットサービスプロバイダーや IP 電話プロバイダーにお問い合わせください。 • 送信先の設定によっては自局番号が登録されていないと受け付けてくれないことがあります。自局番号を登録してください。 ☞「自局設定」26 ページ • 送信先の設定によっては電話番号を通知しないと受け付けてくれないことがあります。非通知設定にしてあるときは、宛先番号の先頭に 186 を付けて発信してみてください。 • 時刻指定送信は、日付と時刻が設定されていないとできません（項目も表示されない）。日付と時刻を設定してください。 •「応答がありません」と表示されたら、以下を確認してください。 送信先ファクス番号は正しいか 送信先ファクスが受信できる状態か どちらも問題がなければ、しばらくたってから再送信してみてください。
特定送信先にファクス送信できない（毎回エラーが表示される）	ダイヤル終了後 50 秒間は相手先の応答を待ちますが、応答が 50 秒以上かかる場合はエラーになります。 以下のページの「手動送信（外付電話機接続時のみ）」を行い、ファクス信号（ピー音）が聞こえるまでの時間をご確認ください。 ☞「ファクス送信する」30 ページ 50 秒以上かかる場合は、電話番号 +［ポーズ］を入力して送信してください。 ポーズ 1 回につき、約 3 秒間ファクス送信が遅延されますので、必要に応じて［ポーズ］を増やしてください。
受信できない	• ファクスの自動受信を［オン］にしてください。 • 着信したファクスが転送されると受信はできません。ボイスワープなどの電話転送サービスを利用している場合は、サービスを提供している電話会社にお問い合わせください。 • 呼び出し回数が多く設定されていると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。 ☞「呼び出し回数」25 ページ • 何らかのエラーが発生していたり、メモリーがいっぱいになっていたりすると受信はできません。エラーを解除してください。 • PBX 環境（企業などの内線電話）で、ファクス受信できない場合は、呼び出し回数を 1 回にしてみてください。
きれいに送信できない	• 原稿台の汚れを取り除いてください。 • 文字と写真が混在した原稿は［きれい］の設定で送信してください。 • ファクス設定の濃度を調整してください。 ☞「ファクスモード」16 ページ

現象	対処方法
きれいに受信できない	• ファクス回線設定の［エラー訂正（ECM)］を［する］にしてください。 ☞「ファクスモード」16 ページ • 送信元に「原稿に汚れがないか」「画質の高いモードで送信できないか」を尋ねてみてください。 • 受信ファクスを印刷し直してみてください（［レポート印刷］で再印刷できます）。
音声通話ができない	自動受信するまでの呼び出し回数は、留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。

その他のトラブル

現象	対処方法
ヘッドクリーニングできない	ヘッドクリーニングはインクを消費するため、十分な残量がないとできません。新しいインクカートリッジに交換してから行ってください。 ☞「インクカートリッジの交換」35 ページ
約10分以上連続して印刷をしている途中で、印刷速度が遅くなった	高温による製品内部の損傷を防ぐための機能が働いたため、速度を下げて印刷しています（印刷は継続できます）。 印刷を中断し、電源を入れたまま 30 分以上放置した後は通常の速度で印刷します（電源を切って放置しても印刷速度は回復しません）。

本体のクリーニング

- 用紙がインクで汚れる
  印刷物に汚れやこすれがあるときは、製品内部（ローラー）をクリーニングしてください。

1 **シートフィーダーに A4 サイズの普通紙（コピー用紙など）をセットする。**

2 **原稿をセットしないでコピーを実行する。**

3 **用紙にインクの汚れが付かなくなるまで繰り返す。**

- 用紙が正しく給紙されない
  お使いのエプソン製用紙に、クリーニングシートが添付されているときは、クリーニングシートを使ってローラーをクリーニングしてください。

クリーニングシートは以下からお買い求めいただけます。
エプソンダイレクト　<http://www.epson.jp/shop/>
商品名：PX/PM 用クリーニングシート

1 **原稿台のガラス面と原稿カバーに汚れがないことを確認する。**

2 **クリーニングシートの保護シート（茶色）を剥がします。**

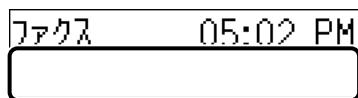
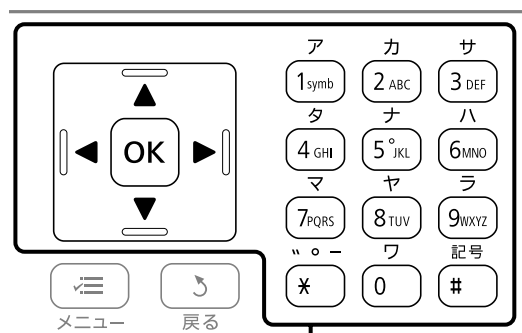
3 **クリーニングシートをシートフィーダーにセットします。**

4 **原稿をセットしないでコピーを実行します。**

手順 2 と手順 3 を、2 ～ 3 回繰り返す。
☞「コピーモード」24 ページ

付録

文字の入力

ファクスの番号入力やネットワーク設定などでの文字や記号の入力は、入力専用画面で行います。
設定する項目によって表示される画面は異なります。

宛先などの入力時には、1 つのキーを繰り返し押すと、「カナ大文字」(→「カナ小文字」) →「アルファベット小文字」→「アルファベット大文字」→「数字」の順に切り替わります。

【▶】: 1 文字ずつカーソル移動します。また、空白が入ります。

【◀】: 左に向かって 1 文字ずつ削除します(バックスペース)。

【OK】: 入力を終了します。

輸送方法

輸送の前に以下の作業を行ってください。

1 **電源を切ります。**

プリントヘッドがホームポジション(待機位置)に移動し、固定されます。

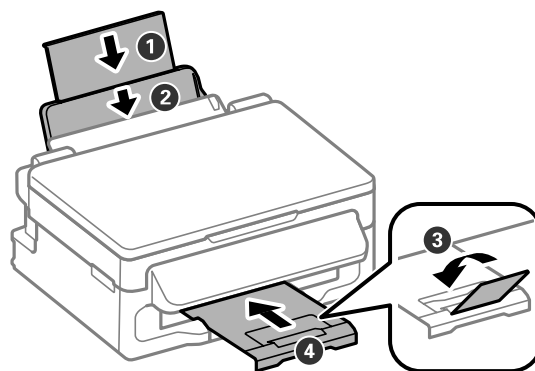
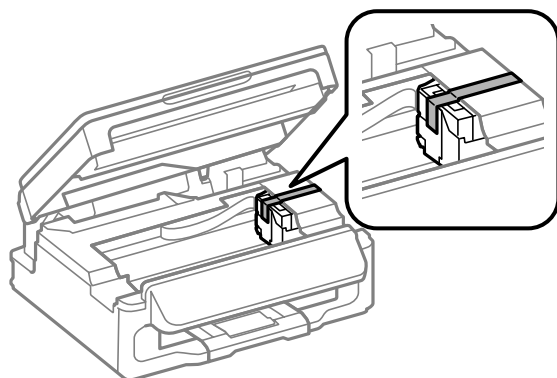
!重要

- インクカートリッジは取り外さないでください。取り外すと、プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- プリントヘッドの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、ホームポジションに戻らず、固定されません。電源を入れ直し、【電源】を押して電源を切ってください。

2 **ケーブル類を外します。**

3 **セットされている用紙を取り出します。**

4 **原稿カバーの下に原稿がないことを確認します。**

5 **排紙トレイや給紙口カバーなどを元の位置に戻します。**

6 インクカートリッジセット部が動かないように、市販のテープなどでしっかり固定します。

7 保護材を取り付けた後、梱包箱に入れます。

以上で終了です。

> **！重要**
>
> 保護材の取り付けや輸送は、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で行ってください。

> **参考**
>
> - インクカートリッジセット部を固定したテープは輸送後直ちに剥がしてください。テープの種類によっては、長時間貼り付けたままにしておくと糊が剥がれにくくなることがあります。
> - 輸送後は、保護材を取り外してからお使いください。輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドをクリーニングしてみてください。
> 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」37 ページ

製品の仕様

製品の仕様とご注意

以下の情報は、2012 年 06 月現在のものです。

■ 総合仕様

ノズル配列	黒インク：180 ノズル カラーインク：各色 59 ノズル
インク色	ブラック、イエロー・マゼンタ・シアン
最高解像度	5760*×1440dpi （最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷します）
最小ドットサイズ	3pl（ピコリットル）
インターフェイス	Hi-Speed USB（PC 接続用）
	10BASE-T/100BASE-TX
	IrDA（Ver.1.3 準拠・IrSimple™ 対応）
定格電圧	AC100 ～ 240V
定格周波数	50 ～ 60Hz
定格電流	0.5 ～ 0.3A
消費電力	コピー時：約 11W （ISO/IEC24712 印刷パターンコピー）
	スリープモード時：約 2.3W
	電源オフ時：約 0.3W
外形寸法	収納時：幅 392× 奥行き 377× 高さ 177mm 使用時：幅 392× 奥行き 540× 高さ 291mm
質量	約 5.0kg（インクカートリッジ、電源コードを含まず）
動作時の環境	温度：10 ～ 35 ℃ 湿度：20 ～ 80%（非結露） 湿度（%） 80 55 20 温度（℃） 10 27 35 この範囲でお使いください
保管時の環境	温度：-20 ～ 40 ℃ 湿度：5 ～ 85%（非結露）
省資源機能	両面・割り付け・縮小などの印刷機能で、印刷用紙の使用枚数が節約できます。

対応 OS	• Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2003、Windows Sever 2008、Windows Sever 2008 R2 • Mac OS X v10.5.8、Mac OS X v10.6.x、Mac OS X v10.7.x

* 最新の OS 対応状況はエプソンのホームページをご覧ください。
< http://www.epson.jp/support/taiou/os >

■ インクカートリッジ型番

以下をご覧ください。
☞「裏表紙」

■ スキャナー部

走査方法	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
センサー	CIS
出力解像度	主走査：1200dpi 副走査：2400dpi
最大有効画素数	10200×14040Pixel
最大原稿サイズ	A4・US レターサイズ（216×297mm）
階調	RGB 各色：16bit 入力・1bit または 8bit 出力

■ ファクス部

型式	送受信兼用デスクトップ （スーパー G3・カラーファクス）
対応回線	一般加入電話回線（PSTN）*1
通信速度	高速（スーパー G3）
解像度	モノクロ ドラフト：8pels/mm×3.85lines/mm 標準：8pels/mm×7.7lines/mm きれい：8pels/mm×7.7lines/mm カラー 標準：200×200dpi きれい：200×200dpi
短縮ダイヤル登録件数	最大 60 件
受信ファクス最大保存ページ数	約 180 ページ （ITU-T 標準原稿をモノクロドラフトで受信した場合）

*1: 以下のシステムや電話回線では使用できないことがあります。
- 構内交換機（PBX*2 を使用した内線電話システム）
- ADSL や光ファイバーなどの IP 電話回線
- 各種サービス（キャッチホンなど）の提供を受けている電話回線
- デジタル回線（ISDN）
- 加入電話回線との間にアダプター（ターミナルアダプター・VoIP アダプター・スプリッター・ADSL ルーターなど）を接続しているとき
  ドアホンやビジネスホンには対応していません。
  また、電話回線の状況は地域などの条件によって使用できないことがあります。

*2: 企業などの内線電話システム（外線発信時に電話番号の最初に 0 などの外線発信番号を付けて通話する）で使われている回線

■ 無線 LAN

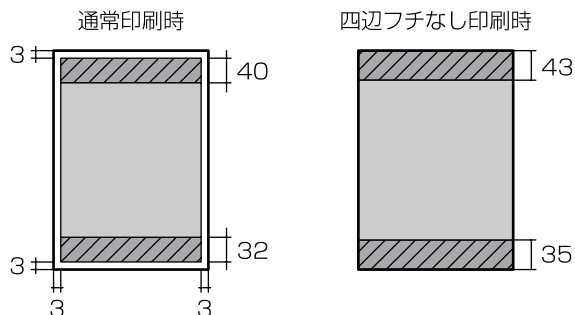
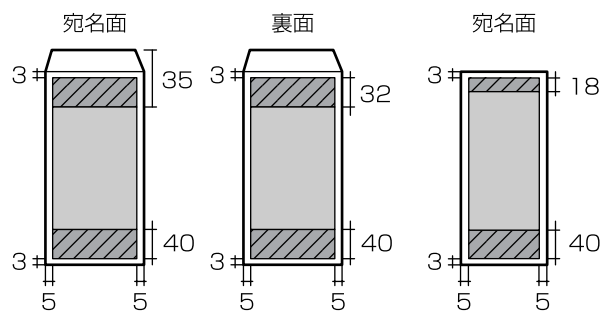
準拠規格	IEEE 802.11b/g/n
無線規格	ARIB STD-T66・RCR STD-33
周波数範囲	2.400 ～ 2.4835GHz（1 ～ 13ch） 2.471 ～ 2.497GHz（14ch）
チャネル	IEEE 802.11b： 1 ～ 14ch IEEE 802.11g： 1 ～ 13ch IEEE 802.11n： 1 ～ 13ch*1
伝送方式	DS-SS（IEEE 802.11b） OFDM（IEEE 802.11g/n）
通信速度	IEEE 802.11b：1 ～ 11Mbps IEEE 802.11g：6 ～ 54Mbps IEEE 802.11n HT20：6.5 ～ 72.2Mbps
通信モード	インフラストラクチャー・アドホック *2
セキュリティー	WEP（64/128bit）・WPA-PSK（TKIP）*3・WPA-PSK（AES）*3

*1: 20MHz 帯域幅（HT20）で自動選択
*2: IEEE 802.11n には非対応
*3: WPA2 規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal 規格に対応

■ 印刷領域（単位 mm）

本製品の機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

定形紙

封筒

規格・規制

■ 電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ 瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

■ 電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

■ 著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

■ 複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条など以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

■ 商標

- Mac、Mac OS X は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON ステータスモニターはセイコーエプソン株式会社の商標です。
- EPSON PRINT Image Matching、PRINT Image Framer は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品は、PRINT Image Matching IIIに対応しています。
PRINT Image Matchingに関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。
PRINT Image Matchingに関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

表記

- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版

本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」「Windows Server 2003」「Windows Server 2008」「Windows Server R2 2008」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

本書では、Mac OS X Lion を「Mac OS X v10.7.x」と表記しています。

ご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

■ 液晶ディスプレイ

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

■ 電波

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名： WLU6117-D69(RoHS)
- 認証番号： 003WWA110893
003GZA110894

周波数

本製品は、2.4GHz 帯の 2.400GHz から 2.497GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意
本製品の使用周波数は、2.4GHz 帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本機の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
3. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、カラリオインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

参考

上記注意事項が記載されているステッカーが同梱されています。本製品の目立つところに貼り付けてください。
本製品は Wi-Fi Alliance の承認を受けた無線機器です。
他メーカーの Wi-Fi 承認済みの無線機器と通信が可能です。Wi-Fi 対応製品の詳細は Wi-Fi Alliance のホームページ（http://www.wi-fi.org）をご参照ください。

2.4 DS/OF 4

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。
変調方式として DS-SS、OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
全帯域を使用し周波数変更が可能です。

■ セキュリティー

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。
本製品などの無線 LAN 製品では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み取られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID　やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線 LAN 製品は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 製品のセキュリティーに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

※セキュリティー対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品のセキュリティーの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、「おうちプリント訪問サービス」（有償）をご利用ください。

☞「お問い合わせ先」55 ページ

弊社では、お客様がセキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

電源投入、遮断時のご注意

以下の状態のときは、電源を切らないでください。

- ネットワーク設定変更中
  変更した設定が保存できないため、ネットワーク接続で使えなくなることがあります。
- ネットワークで接続したパソコンからの印刷中
  印刷データ送信元のパソコンが動作不良になることがあります。
- ファームウェアの更新中
  更新が正常に行われないため、ネットワーク接続で使えなくなることがあります。

■ 本製品の日本国外への持ち出し

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

■ 本製品の譲渡と廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（電話番号、宛先名称など）を消去してください。
消去方法については以下のページをご覧ください。

☞「コピーモード」12 ページ

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは、以下のページでご案内しています。
☞「お問い合わせ先」55 ページ

- 本製品に関するお問い合わせ先
  カラリオインフォメーションセンター
- 『読ん de!! ココパーソナル』（付属ソフトウェア）に関するお問い合わせ先
  エプソン販売株式会社 エーアイソフト製品総合窓口
  （『読ん de!! ココパーソナル』ユーザーズマニュアルの「サポートサービス総合案内」またはホームページ
  < http://ai2you.com/support >－「製品サポートサービスに関する総合案内」で確認してください。）
- マニュアルダウンロードサービス
  製品マニュアル（取扱説明書）の最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。
  < http://www.epson.jp/support/ >－「製品マニュアルダウンロード」

お問い合わせの前に

まず、以下のトラブル対処方法を確認してみてください。
☞「困ったときは」39 ページ
☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）
それでも解決しないときは、以下の事項を確認してからお問い合わせください。

①本製品の型番：
PX-505F

②製造番号（製品に貼られているラベルに記載）

EPSON ■■■■■
製造番号 *XXXXXXXXX*

③どのような操作
□コピー
□スキャン
□パソコンから印刷
□その他（ ）

④印刷データ
□写真
□文書
□その他（ ）

⑤エラー表示
□液晶ディスプレイ
□パソコン画面
メッセージ内容（ ）

⑥用紙の種類
□普通紙
□写真用紙
□ハガキ
□その他（ ）

⑦用紙のサイズ
□ A4
□ハガキ
□ L 判
□その他（ ）

修理とアフターサービス

■ 保証書

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。
これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

■ 補修用性能部品と消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。
故障の状況によっては弊社の判断により、製品本体を、同一機種または同等仕様の機種と交換等させていただくことがあります。なお、同等機種と交換した場合は、交換前の製品の付属品や消耗品をご使用いただけなくなることがあります。
※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

■ 保守サービスの種類と受付窓口

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。

引取修理サービス（ドア to ドアサービス）
ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。お客様による梱包・送付の必要はありません。修理完了品を最短で 3 日後にお届けします。修理費用とは別にサービス料金 1,575 円 / 台（税込み、保証期間内外とも一律）が必要です。

送付修理サービス（デリバリーサービス）
お客様により修理品を梱包・送付していただきます。修理完了品を最短で 3 日後にお届けします。

持込修理サービス（クイックサービス）
お客様により修理品を梱包・送付していただきます。修理完了品を最短で 3 日後にお届けします。

保守サービスの詳細は、次のいずれかでご確認ください。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソン修理センター（次ページの一覧表をご覧ください）
- エプソンのホームページ＜ http://www.epson.jp ＞

!重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

お問い合わせ先

●**エプソンのホームページ　http://www.epson.jp**

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

● **MyEPSON**

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリの
おすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	**http://myepson.jp/**

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター　　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

【電話番号】　**050-3155-8022**

【受付時間】　月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-589-5251へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
*修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。 http://www.epson.jp/support/
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター:0263-86-7660　・東京修理センター:042-584-8070
・鳥取修理センター:0857-77-2202　・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、
修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

【電話番号】　**050-3155-7150**

【受付時間】　月～金曜日9:00～17:30 （祝日、弊社指定休日は除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
*引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/
*平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて
日通航空で代行いたします。
*年末年始（12/30～1/3）の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソン プラス・ワンサービス

"電話だけではわかりにくい" "もっと深く知りたい" などのご要望にお応えする有料サービスです。

○遠隔サポートサービス
インターネットを介してお客様のパソコン画面をオペレーターのパソコンに表示し、画面共有しながら操作・設定方法などをアドバイスさせて
いただく有料サービスです。
※サービスの概要および注意事項等、詳細事項はエプソンのホームページでご確認ください。 http://www.epson.jp/es/
【電話番号】050-3155-8888
【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～20:00 土曜日・日曜日・祝日 10:00～17:00
◎上記電話番号がご利用できない場合は、042-511-2788へお問い合わせください。

○おうちプリント訪問サービス
2つのメニューをご用意。ご自宅にお伺いする有料サービスです。
・おたすけサービス :カラリオ製品の本体設置や、無線LANの接続・設置などを行います。
・ホームレッスン　:カラリオ製品の使い方、パソコンから写真印刷する方法などのレッスンを行います。
※サービスの概要および注意事項等、詳細事項はエプソンのホームページでご確認ください。 http://www.epson.jp/support/houmon/
【電話番号】050-3155-8666
【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
◎上記電話番号がご利用できない場合は、042-511-2944へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。

●講習会のご案内

詳細はホームページでご確認ください。 http://www.epson.jp/school/

●ショールーム　*詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）
でお買い求めください。（2012年5月現在）

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

コンシューマ（SPC）　2012. 05

索引

A

ADSL... 44, 49

U

USB... 40

あ

アフターサービス ... 53

い

インクカートリッジの回収 ... 37
インクカートリッジの型番 ... 35, 49
インクカートリッジの交換 ... 15, 35
インク残量の表示 ... 15, 35

お

オートフィット（コピー倍率）... 12

か

回線種別 ... 25, 44
紙詰まり ... 21, 39, 43
画面の見方 ... 10

く

グループダイヤル設定 ... 28
グループダイヤル送信 ... 30

け

言語選択 ... 16

こ

購入時の設定に戻す ... 11, 13, 17, 18
コピー ... 11, 12, 24, 41
困ったときは ... 39

し

自局設定 ... 25, 26
時刻指定送信 ... 16, 31
自動受信 ... 32, 44
修理 ... 53, 54
手動受信 ... 33
手動送信 ... 31

す

スキャンしてパソコンへ ... 18, 34
スキャンしてパソコンへ（E メール）... 18, 34
スキャンしてパソコンへ（PDF）... 18, 34
スキャンモード ... 11, 18

た

短縮ダイヤル送信 ... 30
短縮ダイヤル登録 ... 27

て

電話番号登録 ... 17

と

問い合わせ先 ... 55
トラブル対処 ... 53

ね

ネットワーク設定 ... 14, 47

の

ノズルチェック ... 15, 37

は

倍率 ... 12
ハガキ ... 19, 20, 21
ハガキ（セット方向）... 21

ふ

ファクス ... 11, 16, 25, 49
ファクス機能診断 ... 17
封筒 ... 20, 21
封筒（セット方向）... 21
フチなし印刷（フチなし設定）... 42
フチなしコピー ... 12
プリンターのお手入れ ... 11, 15, 16
プリントヘッドのギャップ調整 ... 15, 41
プロトコルログ ... 16

へ

ヘッドクリーニング ... 15, 37, 41

ほ

ポーリング受信 ... 16, 33

む

無線 LAN... 11, 14, 49, 51

め

目詰まり ... 15, 37, 41
メニュー一覧 ... 11

も

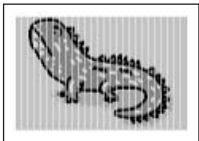
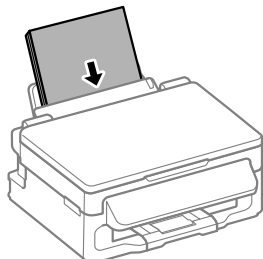
文字入力（ファクス）... 47

よ

用紙（印刷できない用紙）... 21
用紙（印刷できる用紙）... 19
呼び出し回数（ファクス）... 25, 44

り

リダイヤル送信 ... 30

れ

レイアウト ... 12
レポート印刷 ... 16

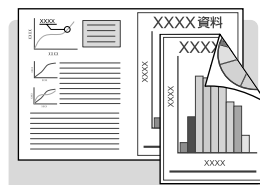
症状別トラブル Q&A

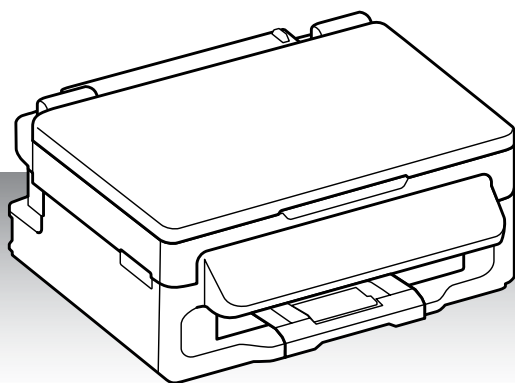
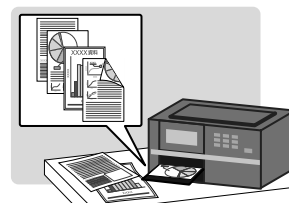
お問い合わせが多い内容です。該当する症状があるときは、対処方法が記載されているページをご覧ください。

（Q）	（A）
ムラになる・にじむ・ぼやける	セットした用紙と印刷設定が合っていない可能性があります。 ☞「印刷できる用紙と設定」19 ページ
シマシマになる・スジや線が入る・色味がおかしい	プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。 ☞「ノズルチェックとヘッドクリーニング」37 ページ
給紙できない	用紙が正しくセットされていない可能性があります。 ☞「セット方法」19 ページ
用紙が詰まった・排紙できない	詰まった用紙を取り除いてください。 ☞「詰まった用紙の取り除き方」39 ページ
パソコンから印刷できない	• 必要なソフトウェアが正しくインストールされていない、設定が間違っている、などの可能性があります。 ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」－「印刷のトラブル」－「印刷できない」 • ネットワーク接続の設定が正しくされていない可能性があります。 ☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」-「その他のトラブル」－「ネットワーク印刷時のトラブル」 それでもトラブルが解決しないときは、エプソンのホームページ「よくある質問（FAQ)」をご覧ください。 <http://www.epson.jp/faq/>

こんなことができます

紙の使用量を削減

- 2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に印刷したり、両面に印刷したり。組み合わせれば紙の使用量を 1/8 に削減できます。
- スキャンしたデータを直接パソコンに送ったり、PDF ファイルにしたり。プリントせずにそのまま保存できます。
- パソコンで作成した文書をプリントせずに「そのままファクス」が可能。

ビジネスでも快適

大量の両面文書のスキャンやコピーをスピーディーに処理。

インクカートリッジの型番

本製品で使用できるインクカートリッジの型番は以下です。

画面の表示	色	型番	増量型番
[BK]	ブラック	ICBK69	ICBK69L
[C]	シアン	ICC69	—
[M]	マゼンタ	ICM69	—
[Y]	イエロー	ICY69	—
4 色パック		IC4CL69	—

69 番と 69L 番は混在して使用できます。

パッケージに記載されている「砂時計」と「69/69L」が目印です。